

全国健康保険協会山形支部 医療費分析(平成28年度版)

平成31年3月

I. 協会けんぽ山形支部の医療費の実態

1. 協会けんぽ山形支部の概況

(1) 協会けんぽ山形支部の加入者の状況	4
(2) 業態ごとの加入者の状況	6
(3) 居住市町村ごとの加入者数	8
(4) その他	9

2. 協会けんぽ山形支部の医療費の概況(年齢調整なし)

(1) 医療費構成等の全国比較	11
(2) 都道府県別加入者一人当たり医療費	15
(3) 加入者一人当たり医療費の推移	16
(4) 医療費3要素の分解	17
(5) 被保険者・被扶養者別一人当たり医療費	20
(6) 主要業態別一人当たり医療費	22
(7) 市町村別一人当たり医療費	24

II. 協会けんぽ山形支部と全国平均との比較～医療費の増加要因の把握～

1. 都道府県別加入者一人当たり医療費(年齢調整あり)	26
2. 一人当たり医療費の全国平均との差に対する寄与額(年齢調整あり)		
(1) 年齢階級別	28
(2) 疾病分類別	32
(3) 業態別	37
(4) 市町村別	39
3. まとめ	46

I . 協会けんぽ山形支部の医療費の実態

1. 協会けんぽ山形支部の概況

(1) 協会けんぽ山形支部の加入者の状況

● 被保険者・被扶養者別加入者数

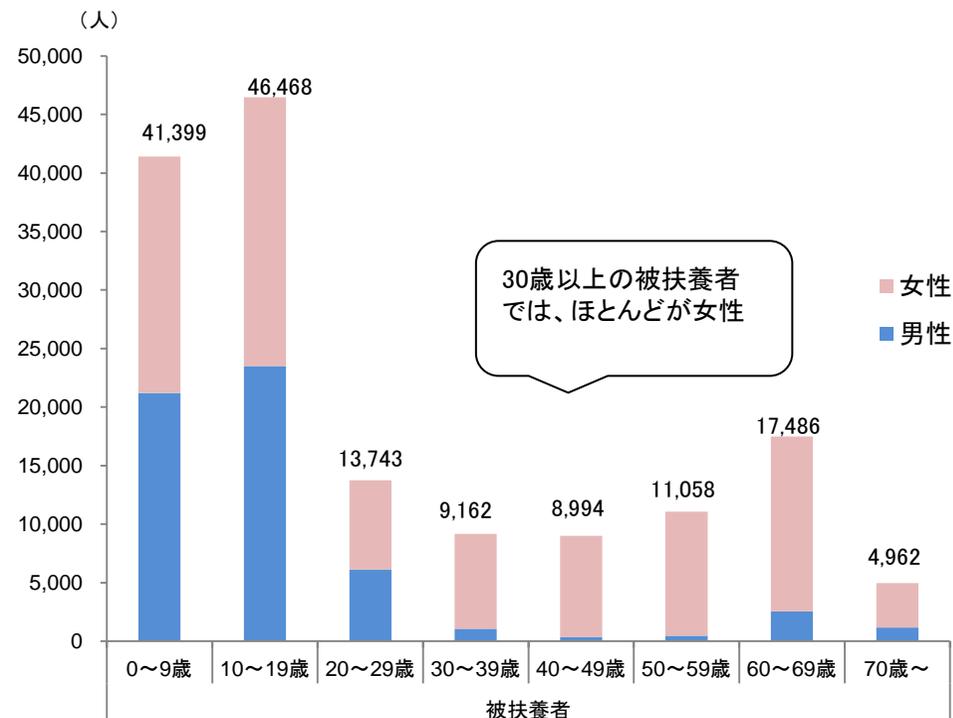
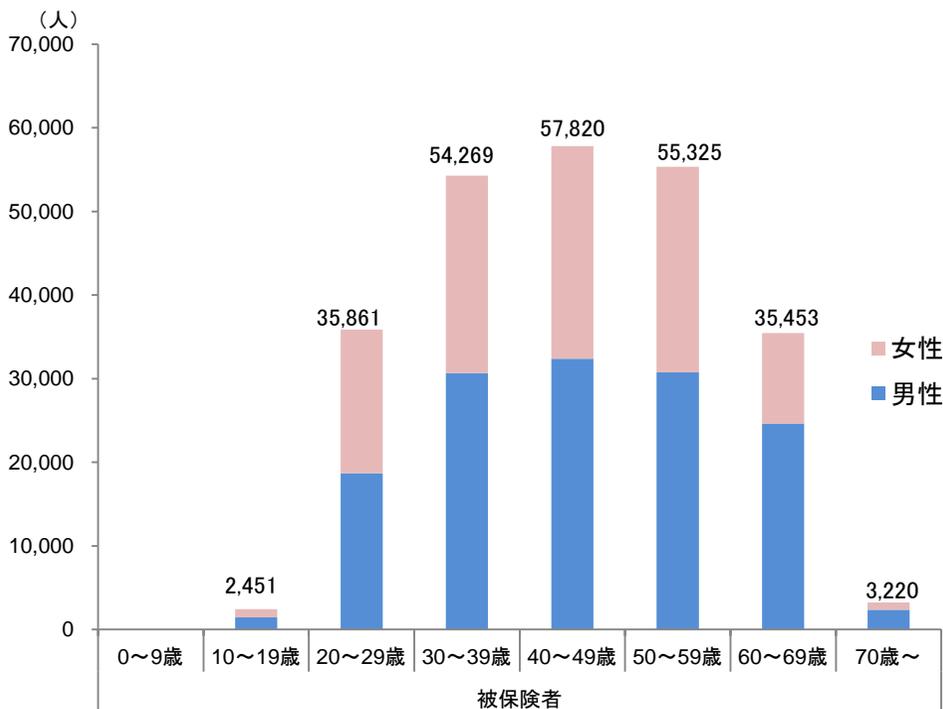
平成28年度 年間平均加入者数 397,671人

被保険者		被扶養者	
244,399人		153,272人	
男性	女性	男性	女性
140,970人	103,429人	56,440人	96,832人

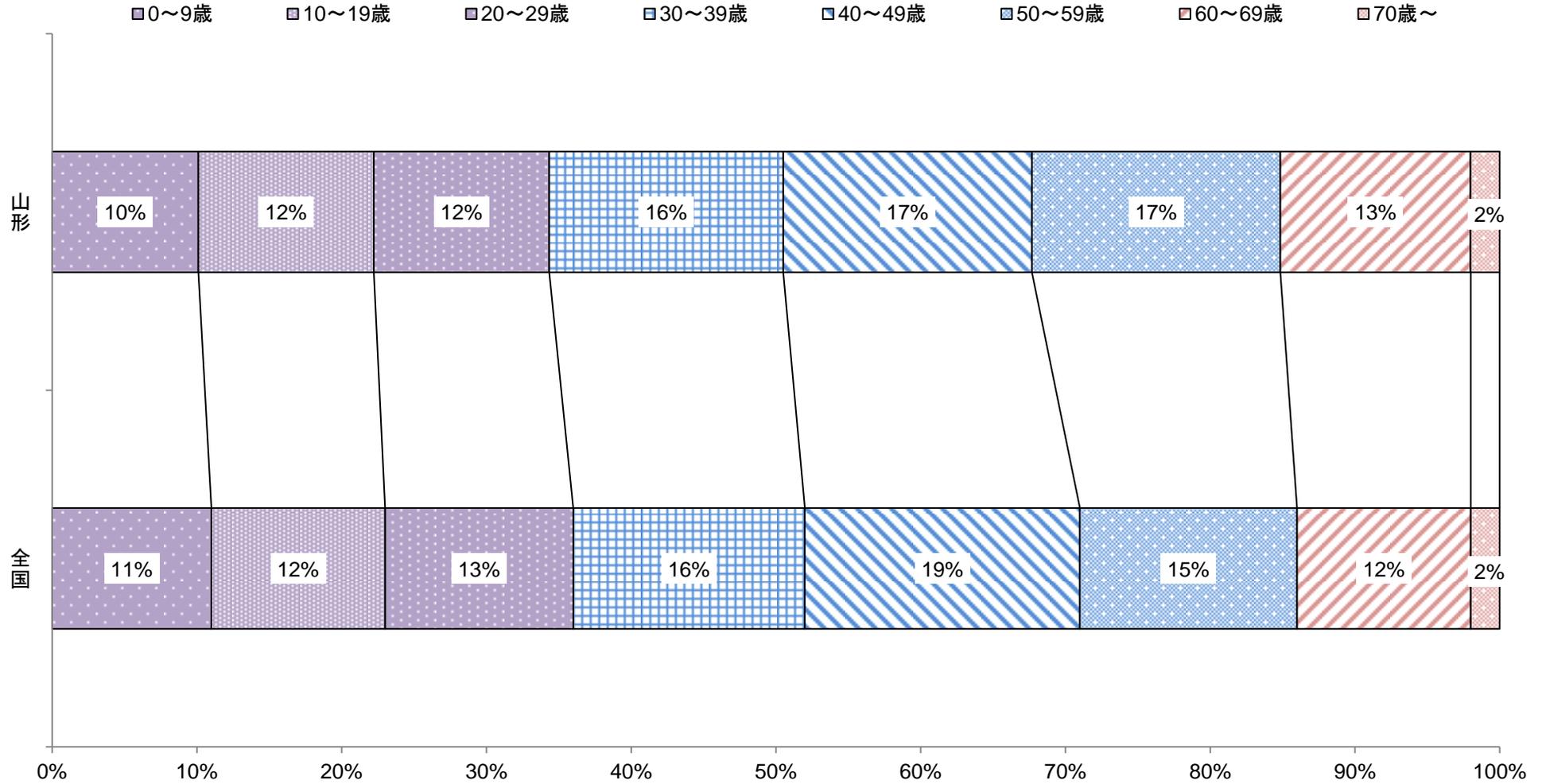
● 男女別加入者数

男性	女性
197,410人	200,261人

● 被保険者・被扶養者別年齢階級毎の加入者数

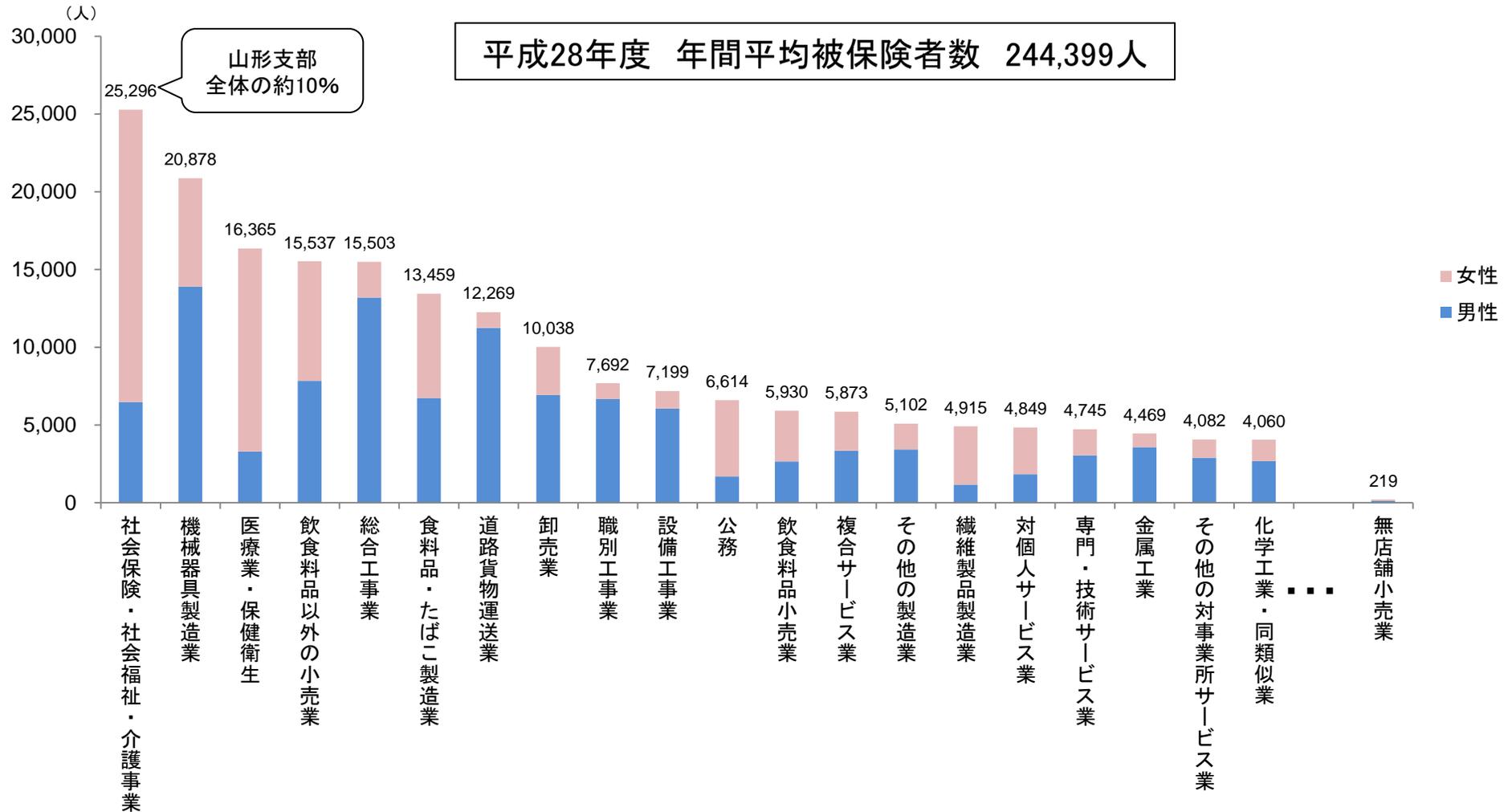


● 年齢階級別加入者数の割合



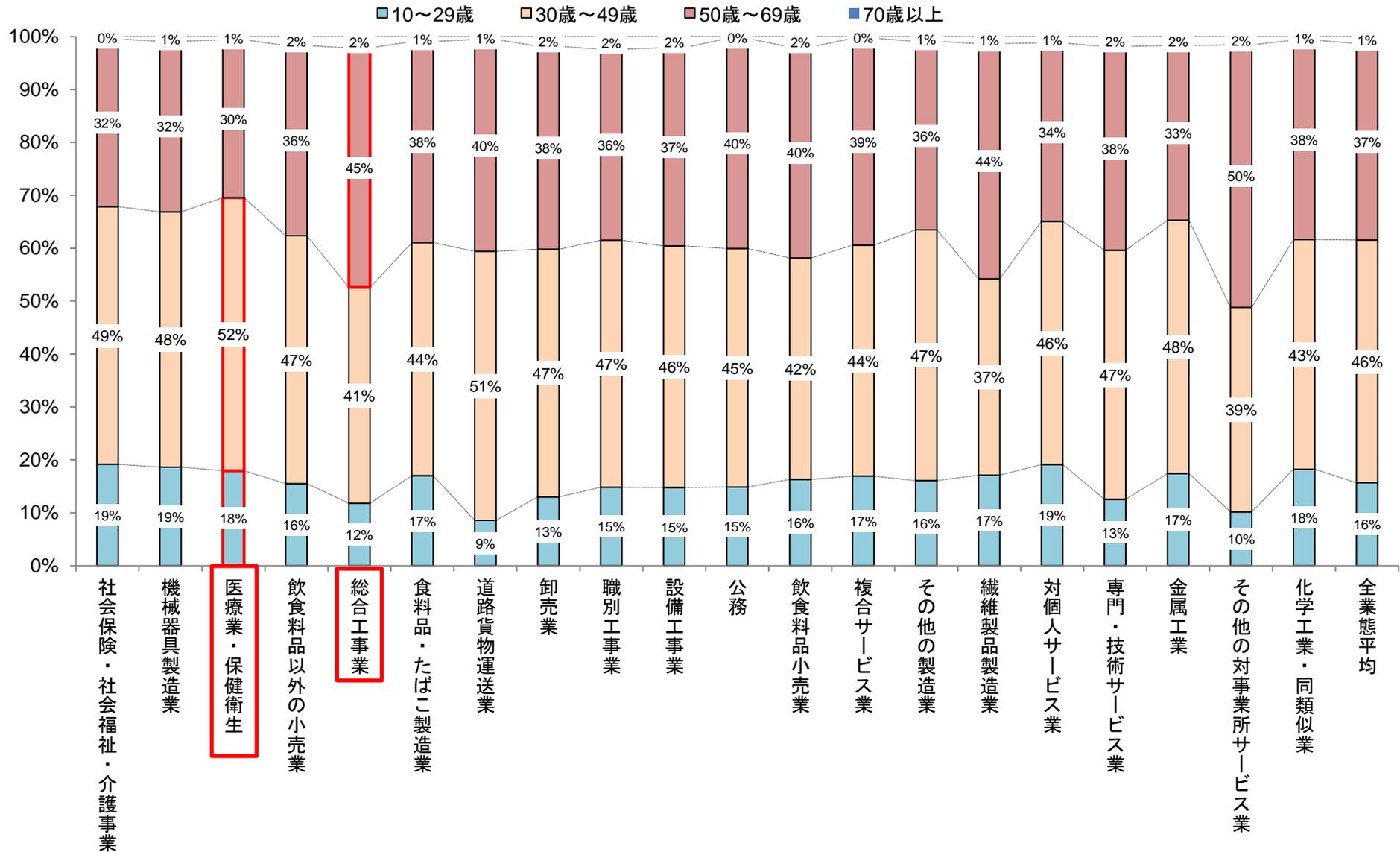
(2) 業態ごとの加入者の状況

● 主要業態の被保険者数(被保険者数4,000名以上)



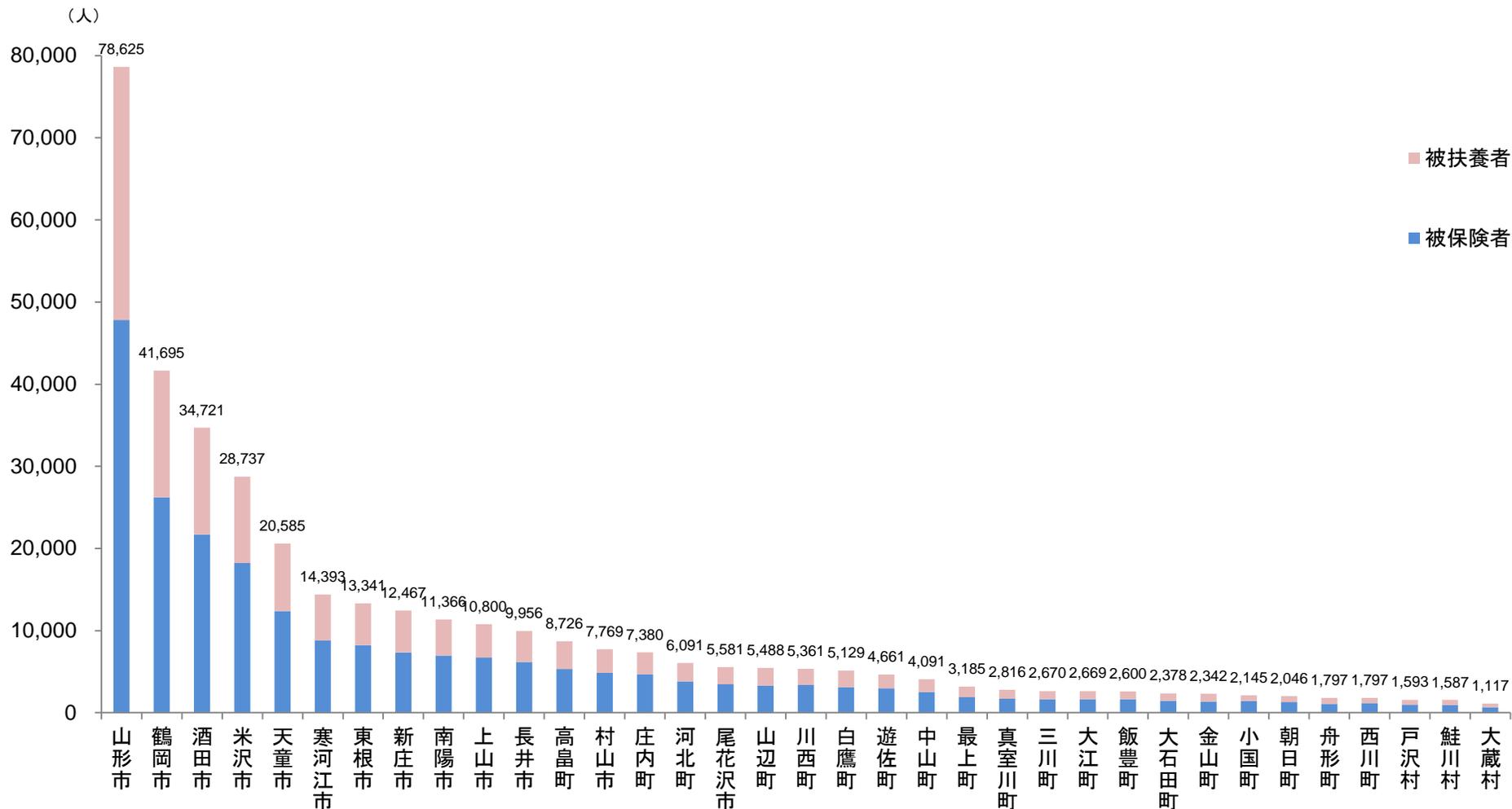
被保険者数が多い「社会保険・社会福祉・介護事業」や「医療業・保健衛生」では、女性が7割・8割を占める。一方、機械器具製造業、総合工事業では男性が多い。

● 主要業態別の被保険者年齢構成割合 (被保険者数が多い順)



医療業・保健衛生業では、49歳までの年齢階級が多く、50歳以上の割合が低い。総合工事業では、50歳以上の割合が高い。

(3) 居住市町村ごとの加入者数(被扶養者は被保険者の住所で集計)



山形支部加入者の約20%が山形市に居住している。

(4) その他(山形県の医療提供体制)

病院:入院できるベッド数が20床以上
診療所:入院できるベッド数が19床以下

人口10万人対病院数		
1	高知県	18.0
2	鹿児島県	15.4
3	徳島県	14.9
4	大分県	13.5
5	佐賀県	12.9
6	宮崎県	12.8
7	熊本県	12.0
8	長崎県	11.0
9	北海道	10.5
10	山口県	10.5
11	愛媛県	10.3
12	富山県	10.0
13	香川県	9.3
14	福岡県	9.0
15	福井県	8.7
16	和歌山県	8.7
17	岡山県	8.6
18	広島県	8.6
19	石川県	8.3
20	鳥取県	7.7
21	青森県	7.4
22	島根県	7.4
23	岩手県	7.3
24	山梨県	7.2
25	秋田県	6.8
26	福島県	6.7
27	全国	6.7
28	群馬県	6.6
29	京都府	6.5
30	沖縄県	6.5
31	兵庫県	6.3
32	長野県	6.2
33	山形県	6.1
34	茨城県	6.1
35	宮城県	6.0
36	大阪府	5.9
37	新潟県	5.7
38	奈良県	5.7
39	三重県	5.5
40	栃木県	5.4
41	岐阜県	5.0
42	静岡県	4.9
43	東京都	4.8
44	埼玉県	4.7
45	千葉県	4.6
46	愛知県	4.3
47	滋賀県	4.0
48	神奈川県	3.7

人口10万人対病院病床数		
1	高知県	2,530.4
2	鹿児島県	2,083.6
3	徳島県	1,978.4
4	熊本県	1,957.6
5	長崎県	1,941.3
6	山口県	1,925.5
7	佐賀県	1,810.4
8	北海道	1,781.7
9	宮崎県	1,750.8
10	大分県	1,723.4
11	福岡県	1,682.7
12	愛媛県	1,607.2
13	石川県	1,582.3
14	富山県	1,577.0
15	島根県	1,543.8
16	香川県	1,541.9
17	鳥取県	1,518.6
18	秋田県	1,502.5
19	岡山県	1,494.3
20	広島県	1,424.2
21	和歌山県	1,415.6
22	福井県	1,404.1
23	岩手県	1,377.8
24	京都府	1,373.7
25	青森県	1,359.2
26	福島県	1,345.7
27	山形県	1,320.6
28	沖縄県	1,314.5
29	山梨県	1,310.0
30	新潟県	1,250.9
31	奈良県	1,237.0
32	群馬県	1,235.5
33	全国	1,229.8
34	大阪府	1,211.4
35	兵庫県	1,177.5
36	長野県	1,152.1
37	三重県	1,122.4
38	茨城県	1,090.3
39	宮城県	1,082.6
40	栃木県	1,080.9
41	静岡県	1,052.2
42	岐阜県	1,026.7
43	滋賀県	1,025.6
44	千葉県	944.5
45	東京都	942.1
46	愛知県	903.4
47	埼玉県	852.1
48	神奈川県	808.9

人口10万人対一般診療所数		
1	和歌山県	110.7
2	島根県	105.1
3	長崎県	101.6
4	徳島県	99.5
5	東京都	96.8
6	大阪府	95.0
7	京都府	94.9
8	山口県	92.0
9	兵庫県	91.2
10	福岡県	91.2
11	愛媛県	91.1
12	広島県	90.7
13	奈良県	89.1
14	鳥取県	88.2
15	岡山県	86.7
16	鹿児島県	86.1
17	香川県	85.4
18	三重県	84.2
19	山梨県	84.1
20	山形県	83.9
21	佐賀県	83.5
22	大分県	83.1
23	熊本県	82.0
24	宮崎県	81.3
25	秋田県	80.1
26	全国	80.0
27	群馬県	79.4
28	岐阜県	78.6
29	高知県	78.4
30	石川県	75.8
31	長野県	75.2
32	滋賀県	75.2
33	福井県	74.3
34	新潟県	73.8
35	静岡県	73.5
36	神奈川県	73.4
37	栃木県	72.7
38	福島県	72.1
39	富山県	71.4
40	宮城県	71.3
41	岩手県	70.8
42	愛知県	70.6
43	青森県	68.4
44	北海道	63.2
45	沖縄県	62.3
46	千葉県	60.6
47	茨城県	59.0
48	埼玉県	58.0

人口10万人対一般診療所病床数		
1	鹿児島県	338.7
2	大分県	334.3
3	佐賀県	291.5
4	熊本県	289.3
5	長崎県	283.5
6	徳島県	269.7
7	宮崎県	242.4
8	愛媛県	214.6
9	高知県	184.3
10	福岡県	177.7
11	青森県	176.1
12	福井県	154.5
13	福岡県	153.9
14	山口県	135.5
15	北海道	122.0
16	岡山県	120.4
17	岩手県	118.8
18	和歌山県	117.5
19	広島県	108.6
20	栃木県	89.3
21	鳥取県	87.9
22	岐阜県	84.4
23	秋田県	82.5
24	福島県	82.4
25	全国	81.5
26	石川県	77.3
27	宮城県	75.8
28	沖縄県	74.8
29	島根県	72.6
30	三重県	67.3
31	群馬県	64.8
32	茨城県	64.4
33	山形県	62.2
34	静岡県	61.1
35	富山県	60.6
36	山梨県	57.7
37	愛知県	57.6
38	兵庫県	51.4
39	長野県	47.8
40	埼玉県	38.9
41	千葉県	38.8
42	滋賀県	38.0
43	奈良県	37.3
44	京都府	30.7
45	東京都	29.9
46	神奈川県	28.7
47	大阪府	28.6
48	新潟県	28.1

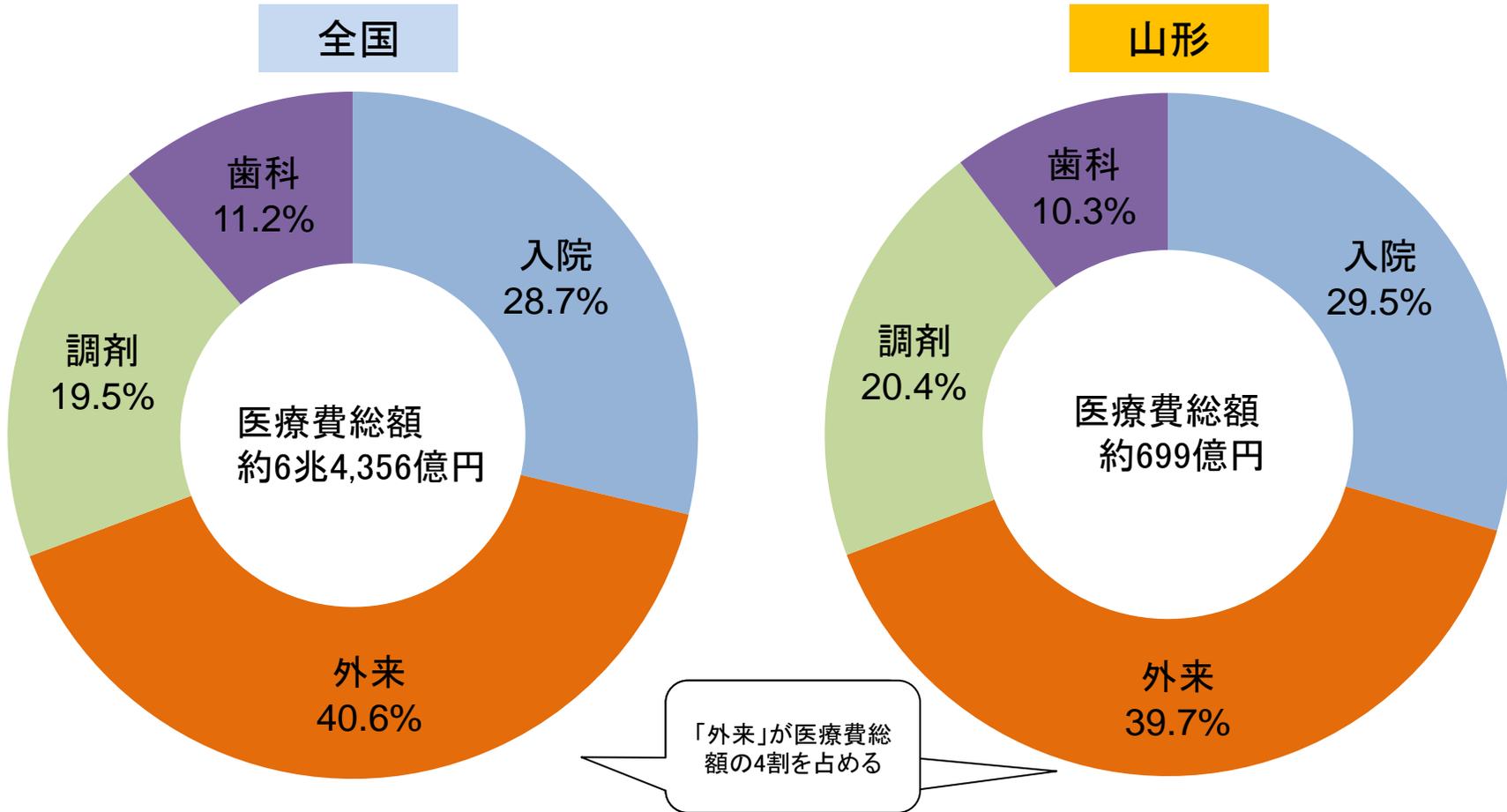
平均在院日数		
1	高知県	46.4
2	佐賀県	42.1
3	鹿児島県	42.0
4	山口県	41.8
5	熊本県	40.8
6	徳島県	38.6
7	宮崎県	36.8
8	長崎県	36.6
9	福岡県	34.8
10	富山県	33.4
11	大分県	32.6
12	北海道	32.1
13	石川県	32.0
14	青森県	31.4
15	広島県	31.4
16	愛媛県	31.3
17	秋田県	31.1
18	新潟県	30.9
19	岩手県	30.8
20	沖縄県	30.0
21	和歌山県	29.8
22	栃木県	29.7
23	福井県	29.6
24	山梨県	29.4
25	鳥取県	29.4
26	島根県	29.3
27	福島県	29.1
28	三重県	28.8
29	京都府	28.8
30	全国	28.5
31	埼玉県	28.3
32	香川県	28.2
33	静岡県	28.0
34	群馬県	27.9
35	山形県	27.3
36	茨城県	27.3
37	岡山県	27.0
38	大阪府	26.5
39	兵庫県	26.5
40	奈良県	26.2
41	千葉県	25.8
42	滋賀県	25.5
43	宮城県	25.1
44	岐阜県	24.6
45	愛知県	24.0
46	長野県	23.9
47	東京都	22.3
48	神奈川県	22.3

人口10万人対医師数		
1	京都府	334.9
2	徳島県	333.3
3	東京都	324.0
4	鳥取県	316.7
5	高知県	315.7
6	福岡県	313.4
7	岡山県	312.0
8	長崎県	308.6
9	和歌山県	300.6
10	石川県	295.8
11	熊本県	294.8
12	香川県	289.4
13	佐賀県	287.1
14	島根県	286.2
15	大阪府	283.1
16	大分県	278.4
17	鹿児島県	272.5
18	愛媛県	272.4
19	広島県	265.6
20	山口県	259.3
21	富山県	256.6
22	福井県	256.0
23	兵庫県	253.2
24	全国	251.7
25	奈良県	251.3
26	宮城県	251.3
27	沖縄県	250.8
28	北海道	248.7
29	宮城県	242.6
30	山梨県	239.8
31	長野県	236.1
32	秋田県	236.0
33	群馬県	234.9
34	山形県	233.3
35	滋賀県	231.4
36	栃木県	228.8
37	三重県	225.7
38	愛知県	218.6
39	岐阜県	215.5
40	神奈川県	213.0
41	青森県	209.0
42	静岡県	207.8
43	岩手県	207.5
44	新潟県	205.5
45	福島県	204.5
46	千葉県	196.9
47	茨城県	189.8
48	埼玉県	167.0

2. 協会けんぽ山形支部の医療費の概況

(1) 医療費構成の全国との比較

① 医療費総額

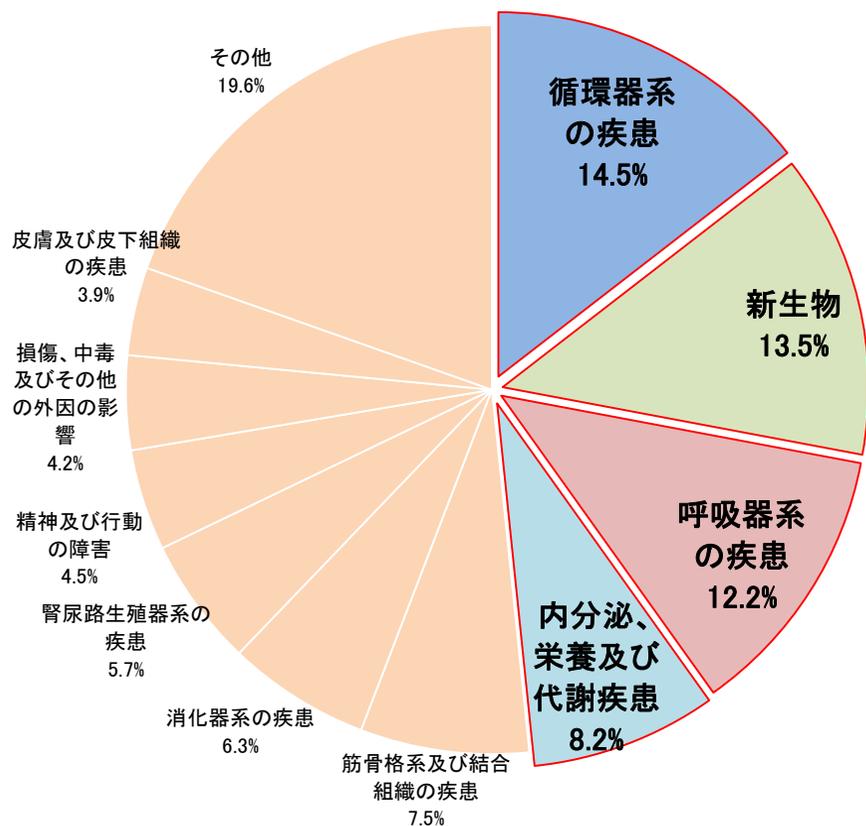


全国・山形で構成割合にほとんど差は無い。医療費総額において山形支部は全国の約1%

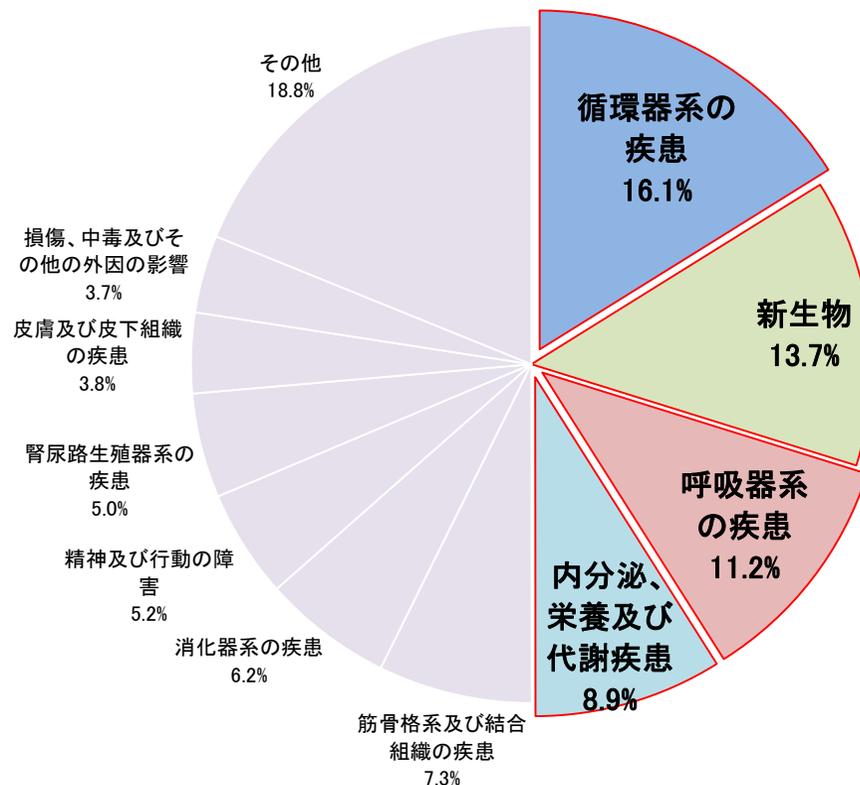
② 疾病分類別医療費割合(入院+外来)

※疾病分類は社会保険表章分類に基づく。(巻末の参考資料1を参照)

全国

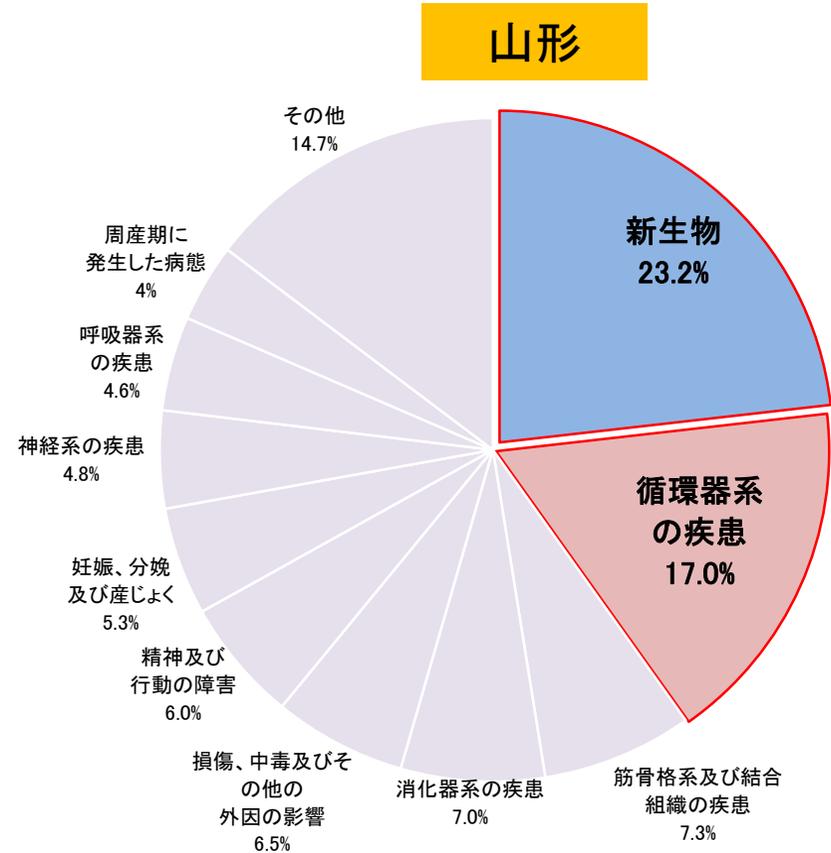
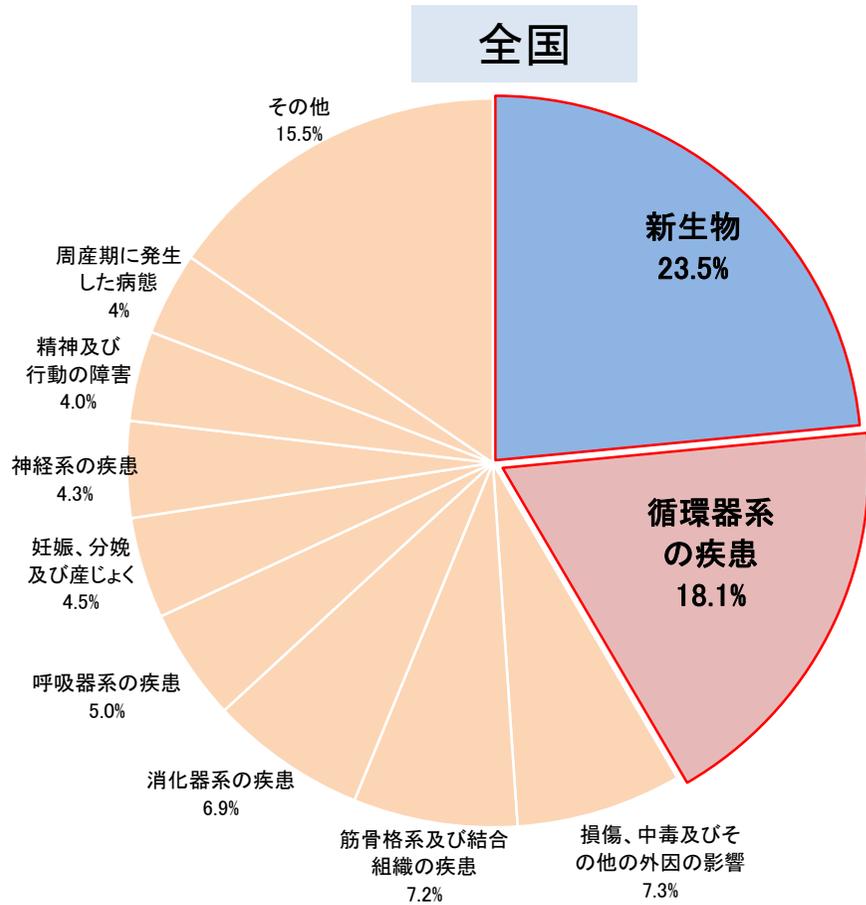


山形



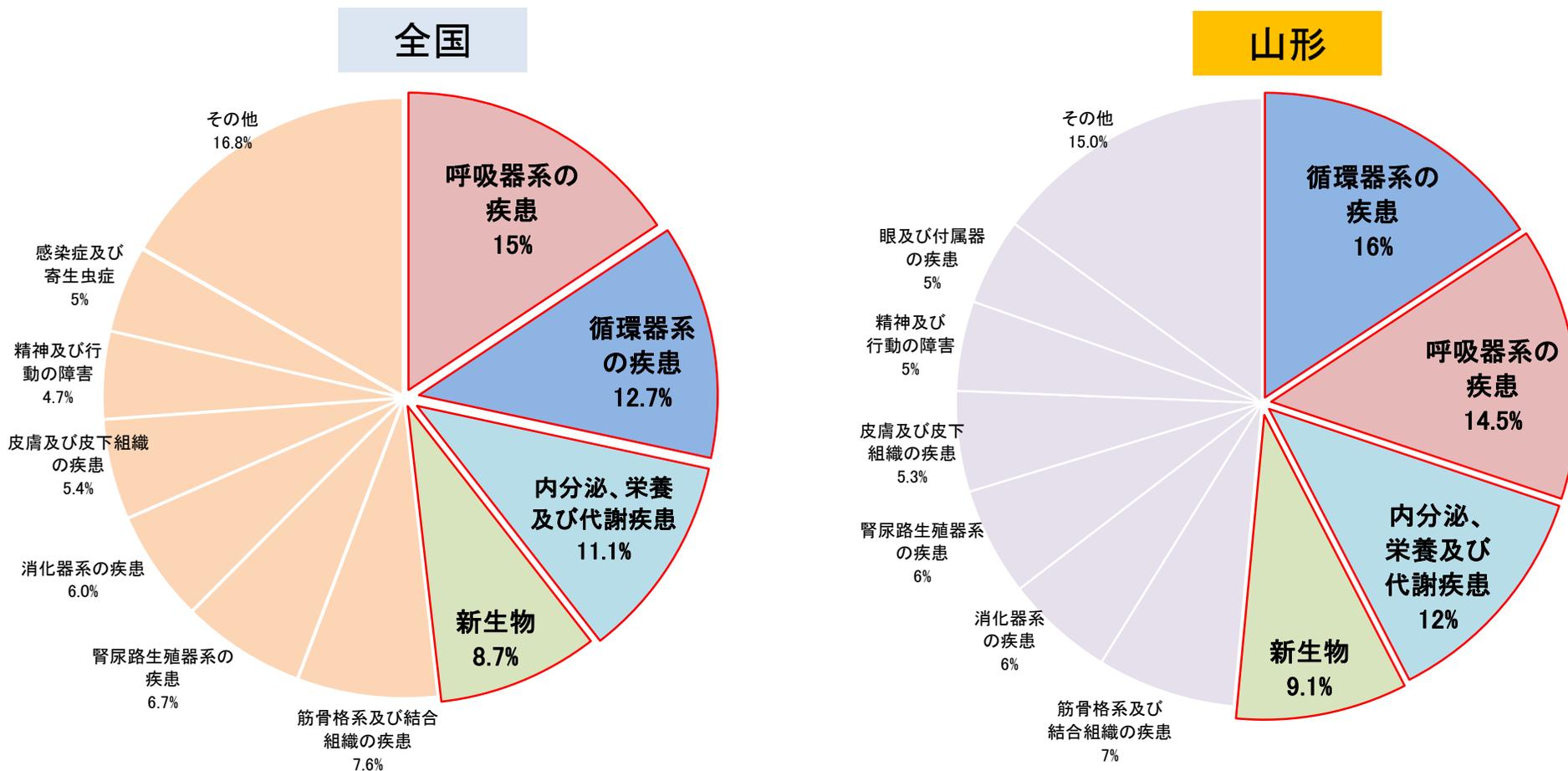
全国と山形でいずれも、「循環器系の疾患」、「新生物」、「呼吸器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で全体の約5割を占める。

③ 疾病分類別医療費割合(入院)



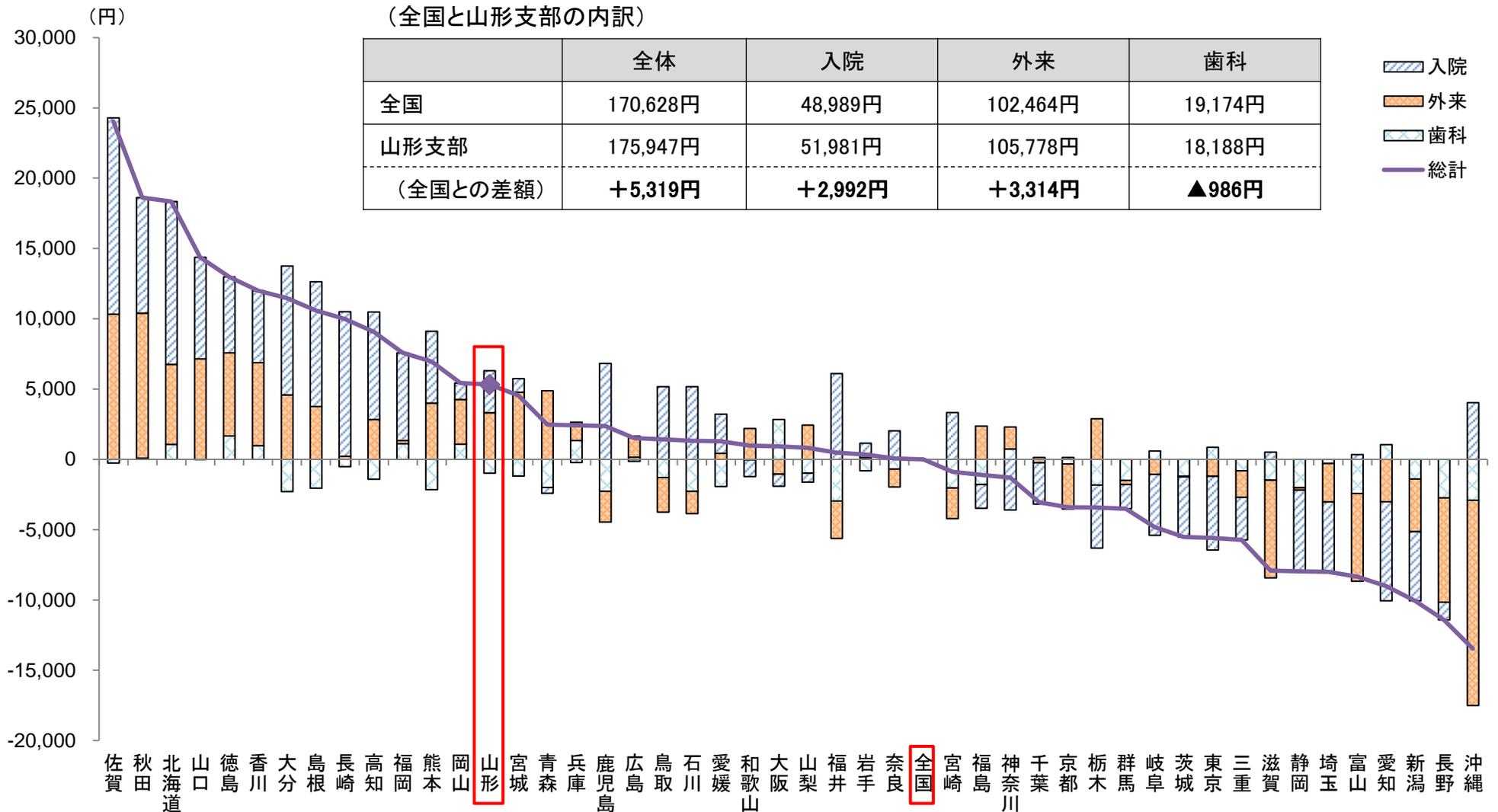
全国と山形でいずれも「新生物」・「循環器系の疾患」で4割を占めており、同じ傾向となっている。

④ 疾病分類別医療費割合(外来)



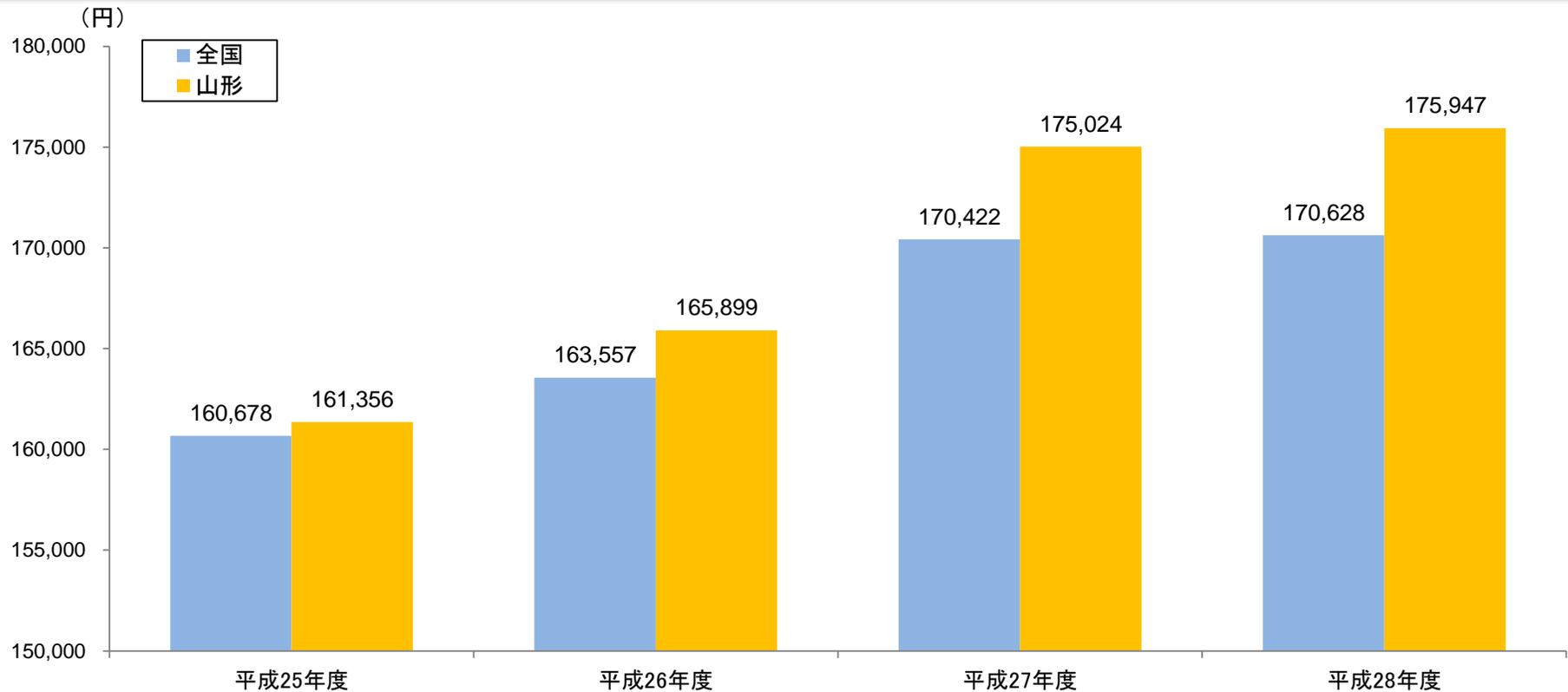
全国と山形でいずれも、「呼吸器系の疾患」、「循環器系の疾患」、「新生物」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で全体の約5割を占める。山形支部では「循環器系の疾患」が第1位になっている。

(2) 都道府県別加入者一人当たり医療費(年齢調整なし)



山形支部の加入者一人当たり医療費は全国平均を上回り、全国で14番目。

(3) 加入者一人当たり医療費の推移



(一人当たり医療費の内訳)

	平成25年度			平成26年度			平成27年度			平成28年度		
	入院	外来	歯科	入院	外来	歯科	入院	外来	歯科	入院	外来	歯科
全国	46,828	95,917	17,932	47,365	97,688	18,504	48,457	103,154	18,810	48,989	102,464	19,174
山形	47,253	97,039	17,063	48,481	99,979	17,439	50,981	106,206	17,837	51,981	105,778	18,188

加入者一人当たり医療費は全国・山形ともに増加傾向が続いている。山形支部が全国を上回るのは、「入院」・「外来」の一人当たり医療費が全国より高い傾向が続いているためである。

(4) 医療費3要素の分解(平成28年度)

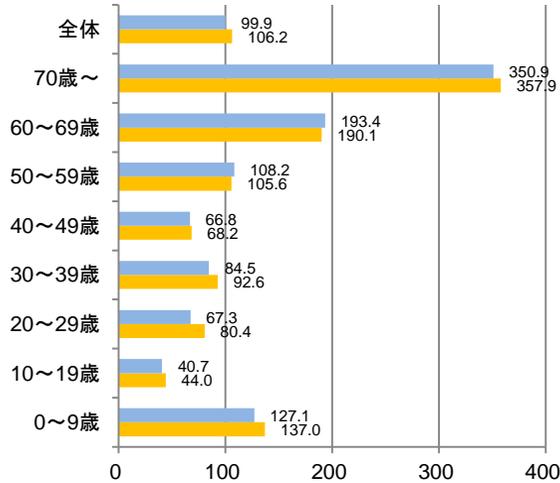
※一人当たり医療費の分解については巻末参考資料2を参照

入院

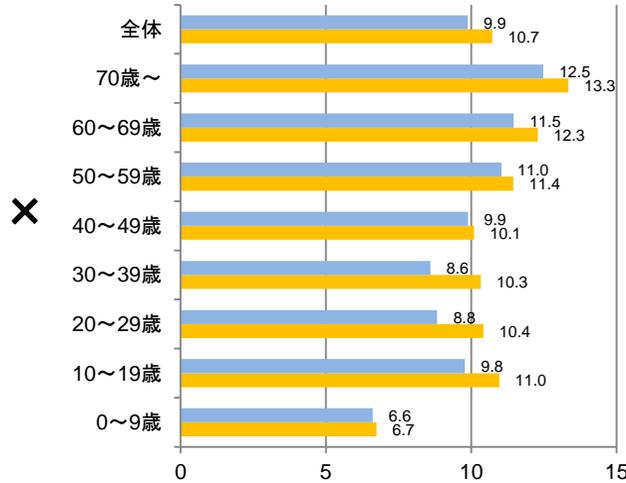
$$\text{加入者1人当たり医療費} = \text{受診率} \times \text{1件当たり日数} \times \text{1日当たり医療費}$$

■ 全国
■ 山形

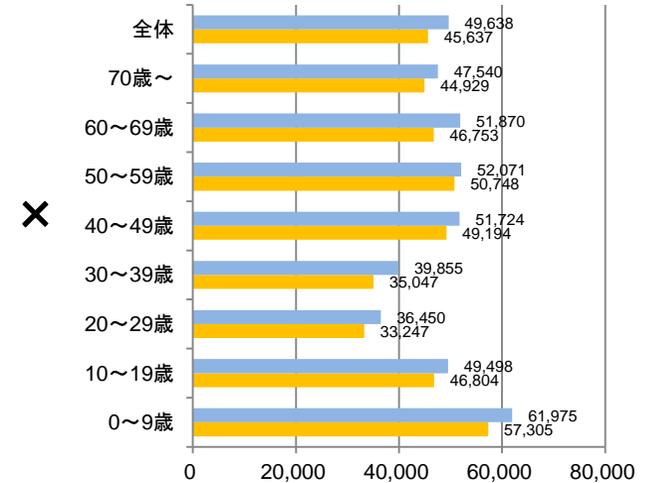
受診率(件/千人)



1件当たり日数

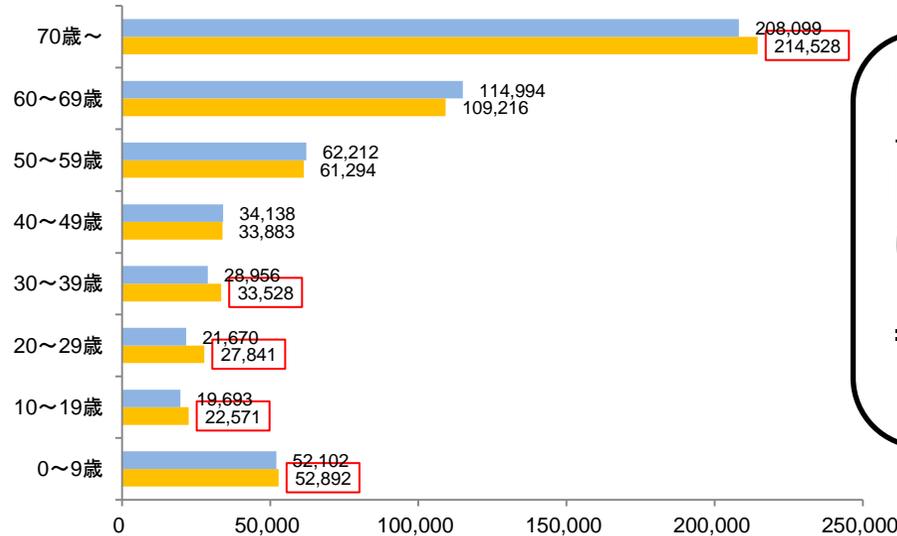


1日当たり医療費



加入者1人当たり医療費

全国	48,989
山形	51,981



「1日当たり医療費」は全国平均より低い
が、「受診率」、「1件当たり日数」は全国平均より高い

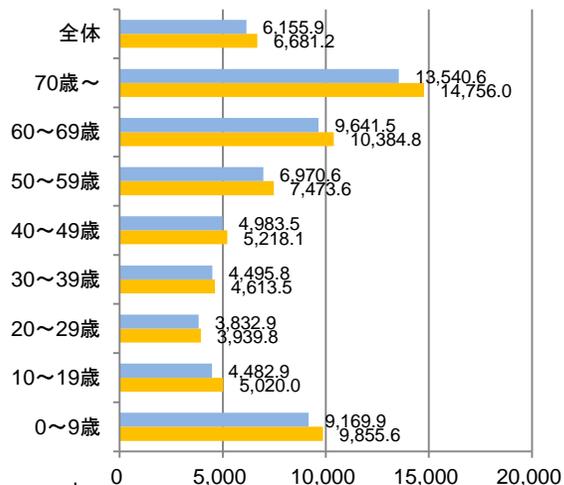
⇒入院の1人当たり医療費は全国平均より**高い**

外来

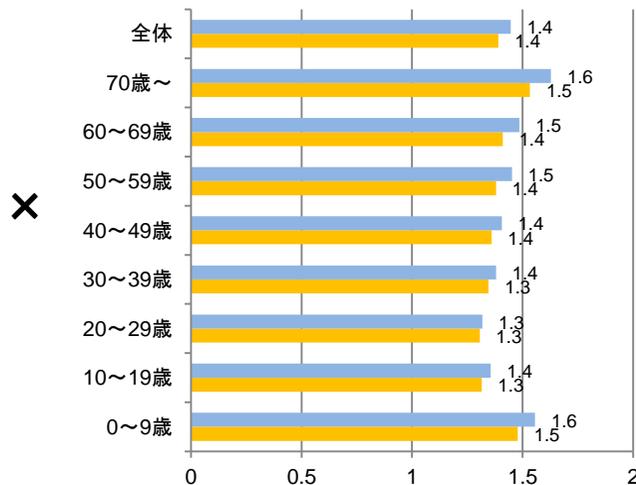
加入者1人あたり医療費 = 受診率 × 1件当たり日数 × 1日当たり医療費



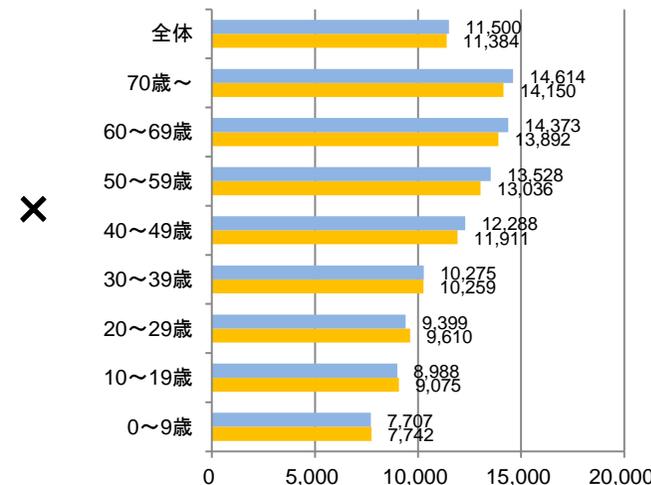
受診率(件/千人)



1件当たり日数

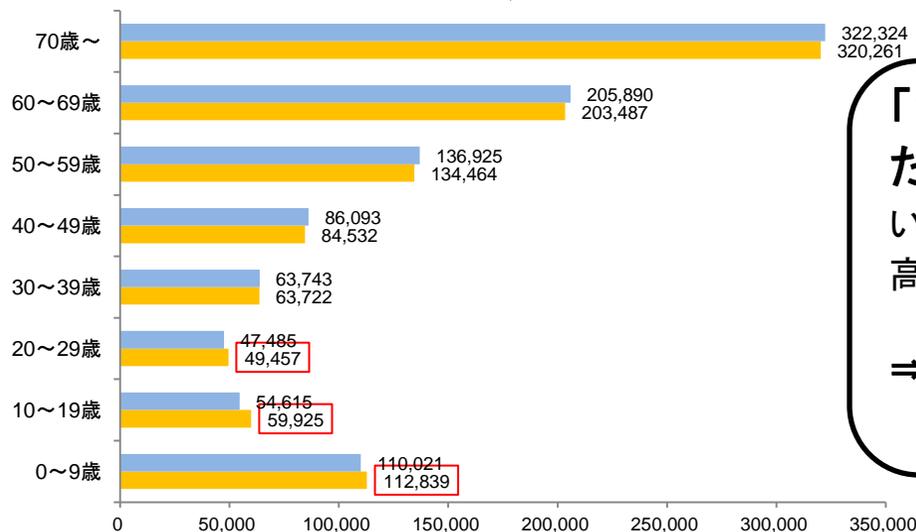


1日当たり医療費



加入者1人あたり医療費

全国	102,464
山形	105,778



「1件当たり日数」、「1日当たり医療費」は全国平均より低い
が、「受診率」が全国平均より高い

⇒外来の1人あたり医療費は全国平均より高い

歯科

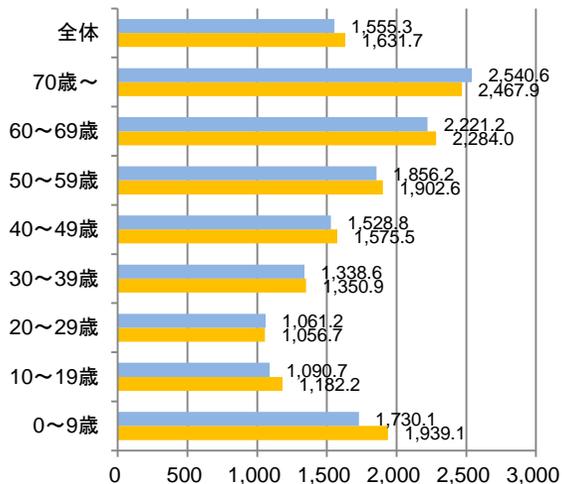
加入者1人あたり医療費 = 受診率 × 1件当たり日数 × 1日当たり医療費

■ 全国
■ 山形

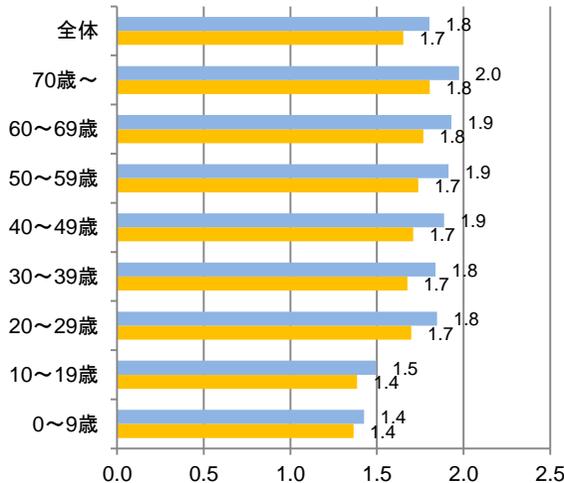
受診率(件/千人)

1件当たり日数

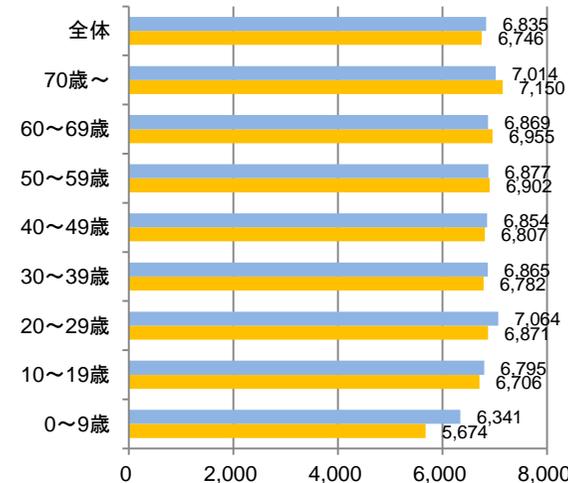
1日当たり医療費



×

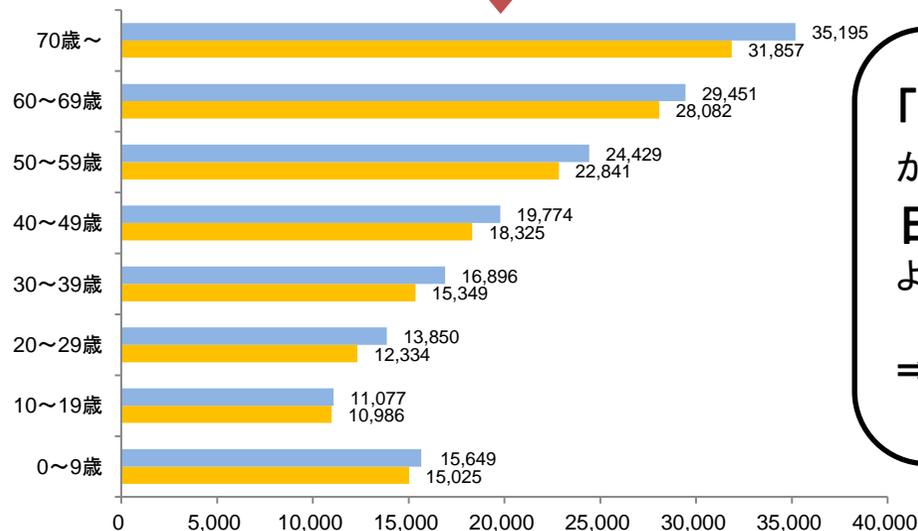


×



加入者1人あたり医療費

全国	19,174
山形	18,188

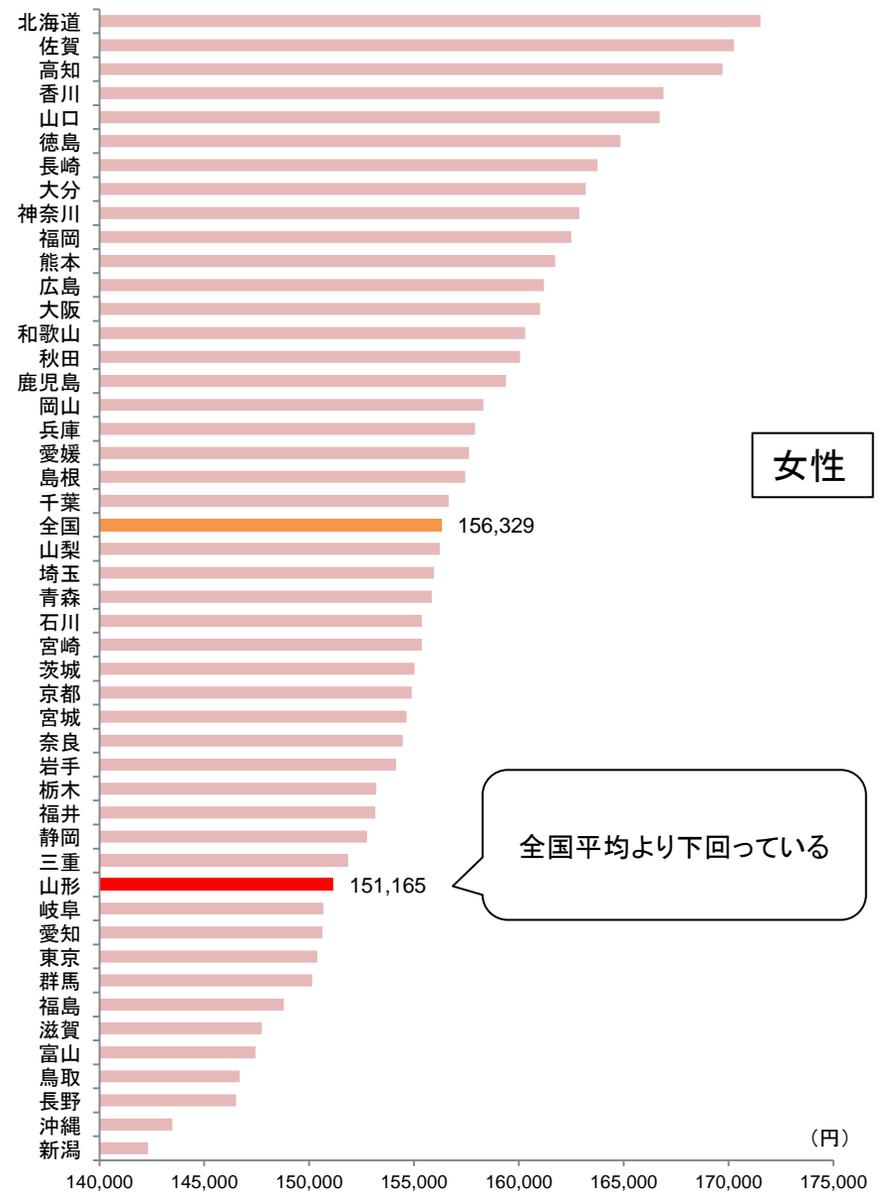
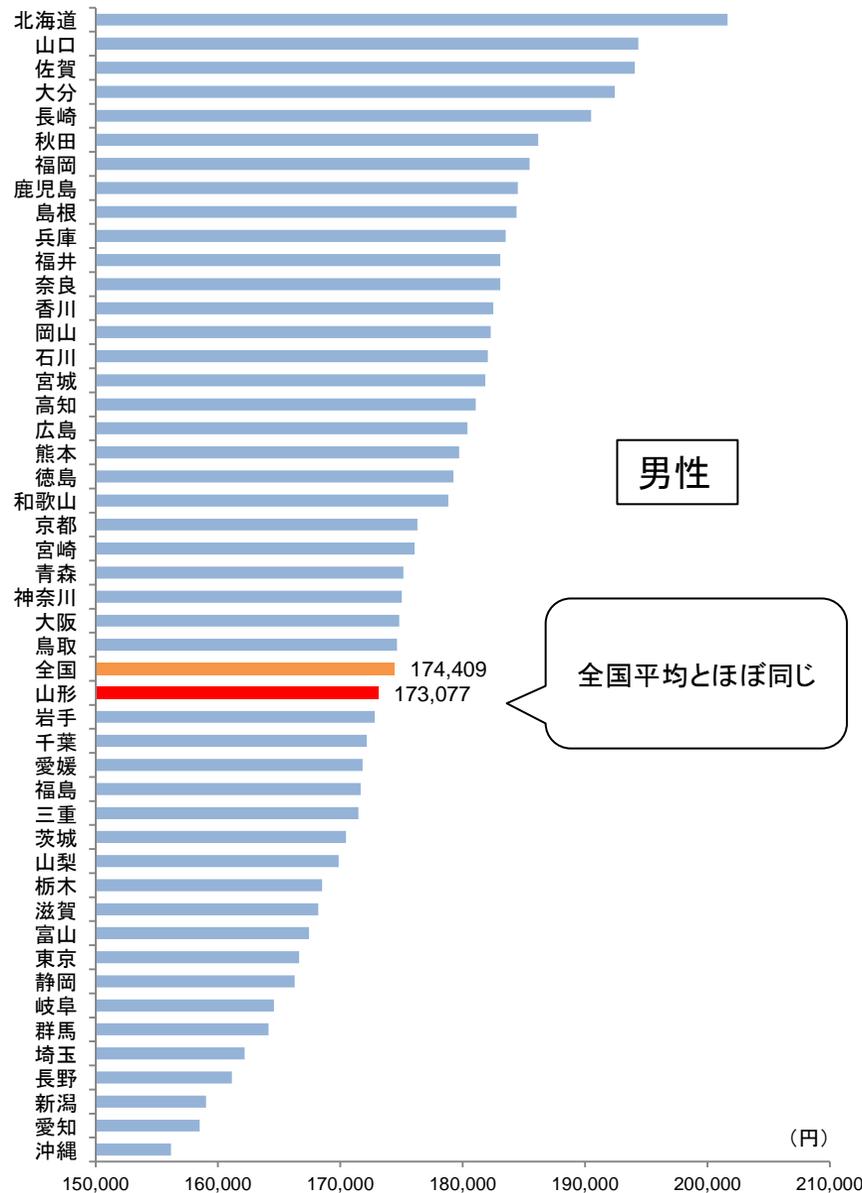


「受診率」は全国平均より高いが、「1件当たり日数」、「1日当たり医療費」が全国平均より低い

⇒ 歯科の1人あたり医療費は全国平均より低い

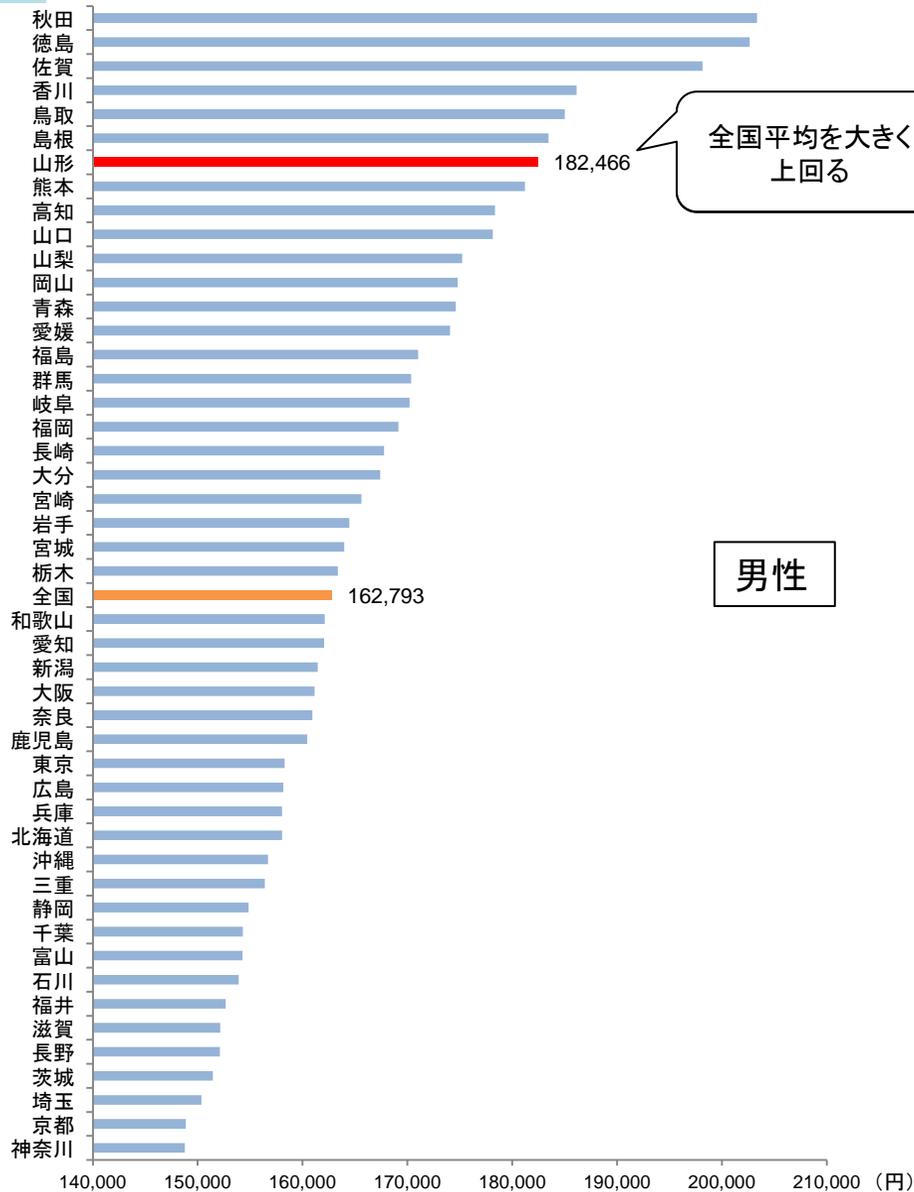
(5) 都道府県別加入者一人当たり医療費(被保険者・被扶養者別)

被保険者

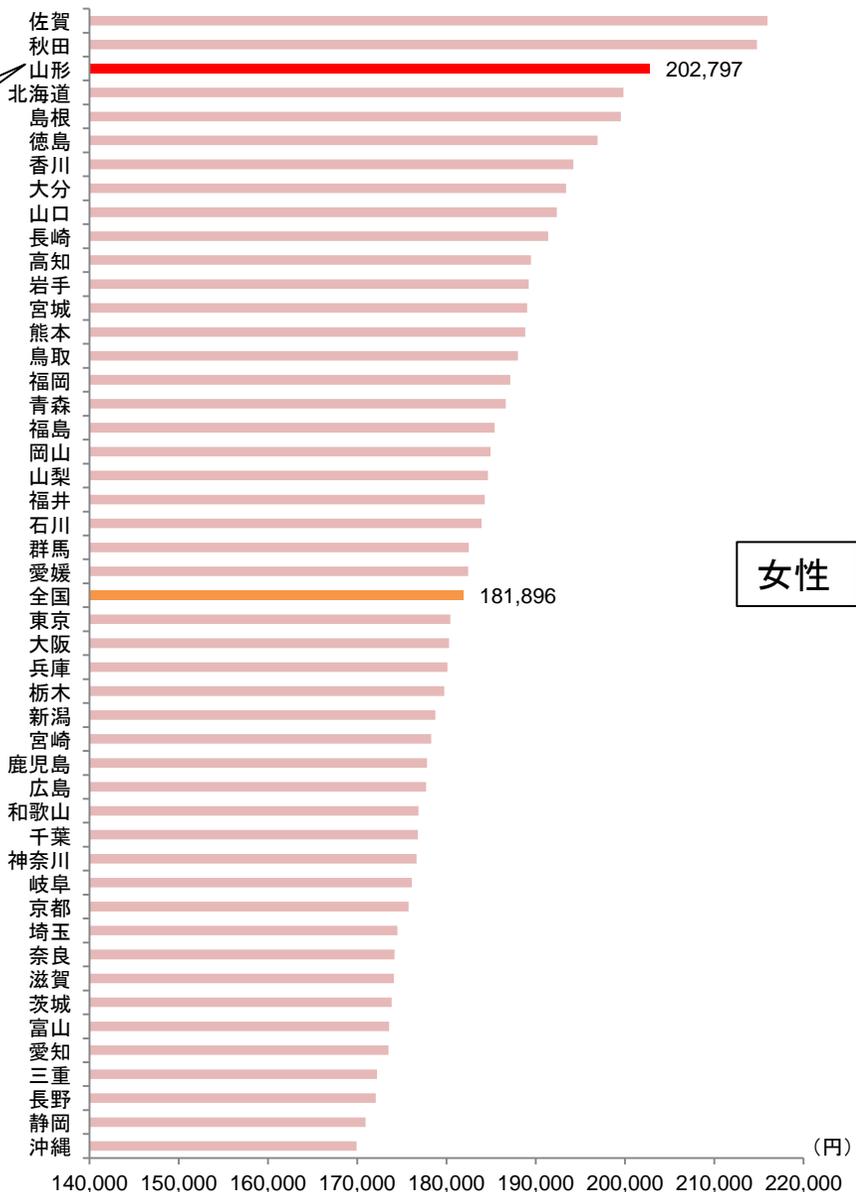


被保険者の一人当たり医療費では、男性では28位、女性で36位となっている。

被扶養者



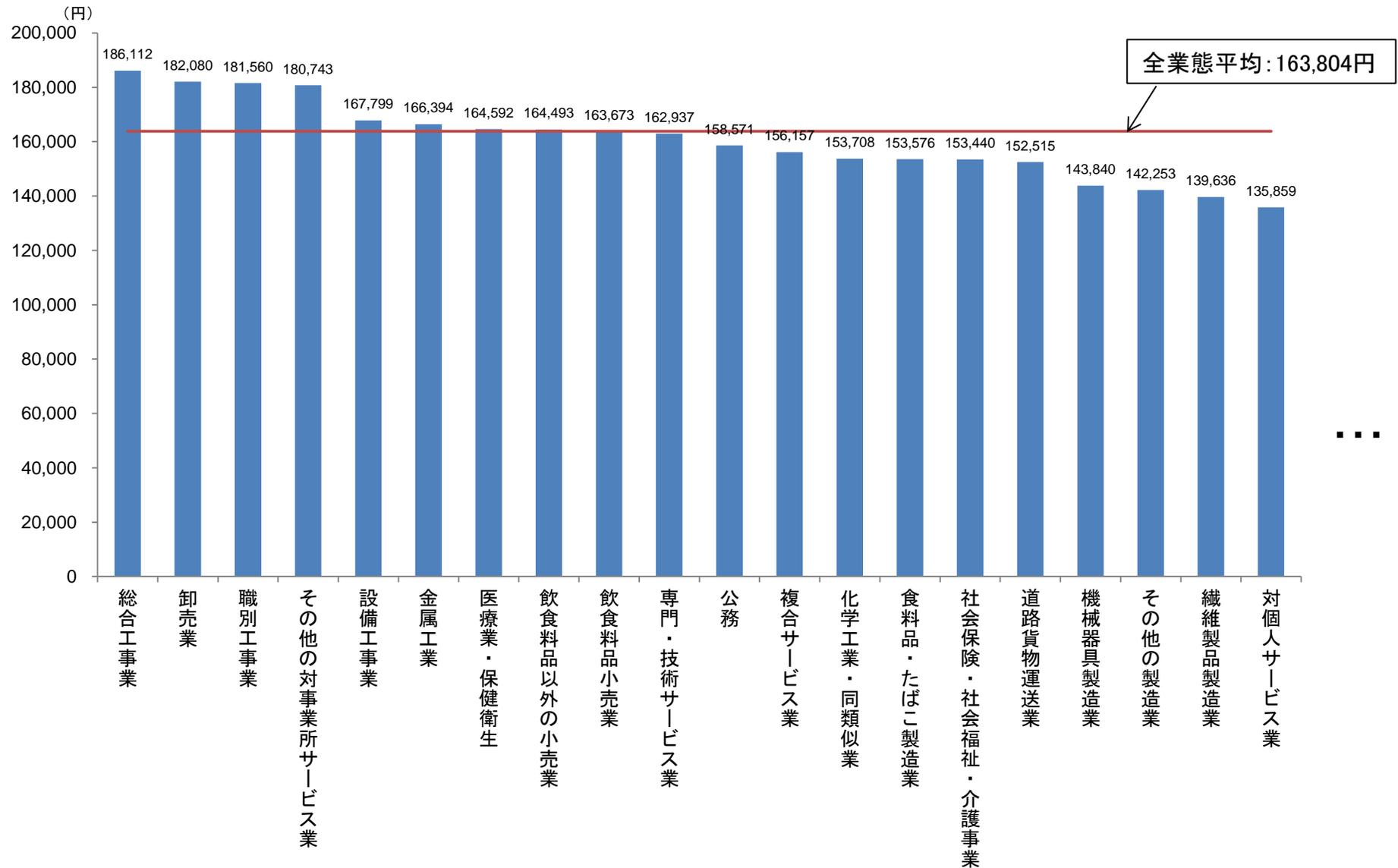
男性



女性

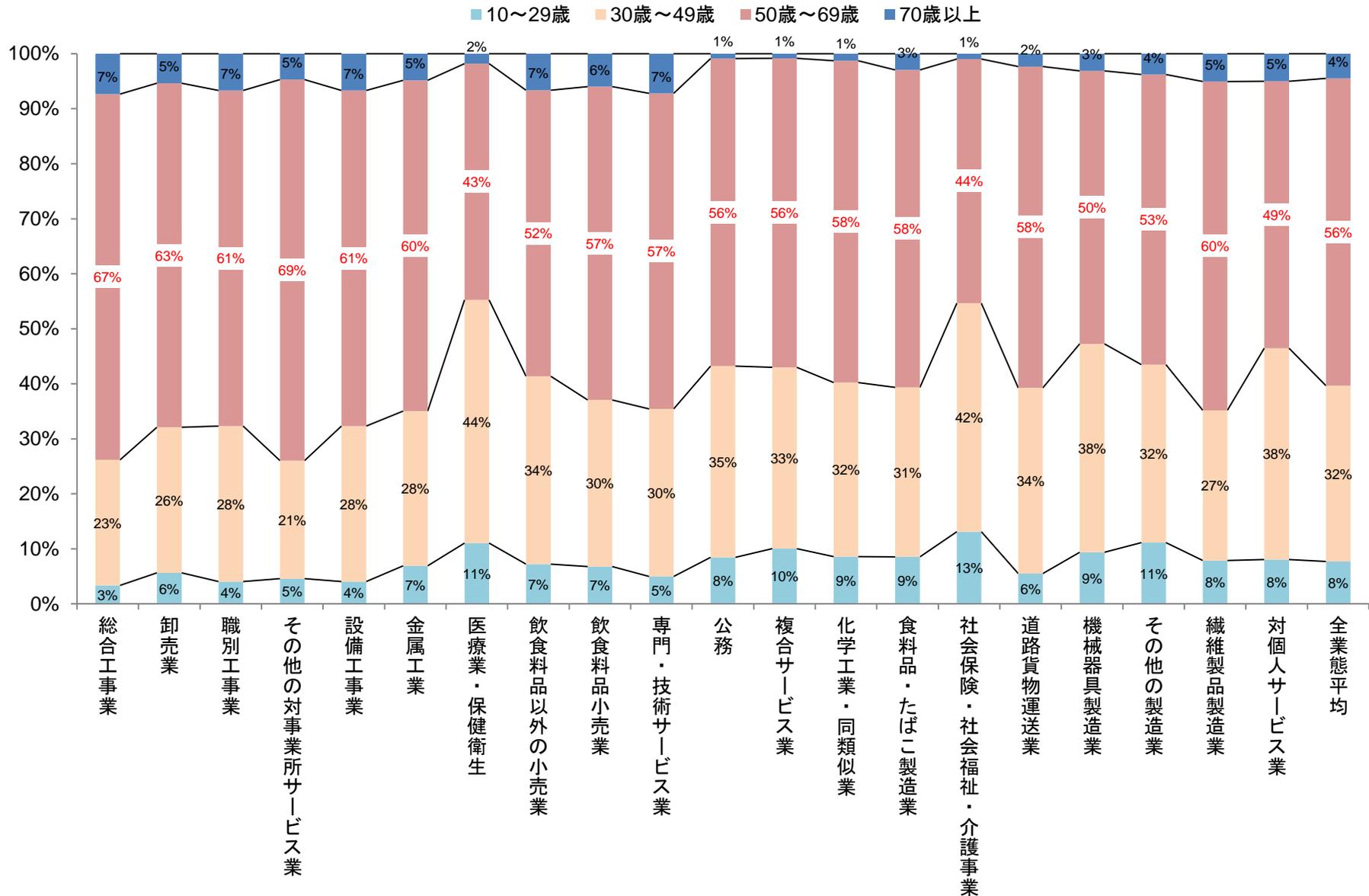
被扶養者の一人当たり医療費では、男性では7位、女性で3位となっている。

(6) 主要業態の加入者一人当たり医療費(被保険者のみ)



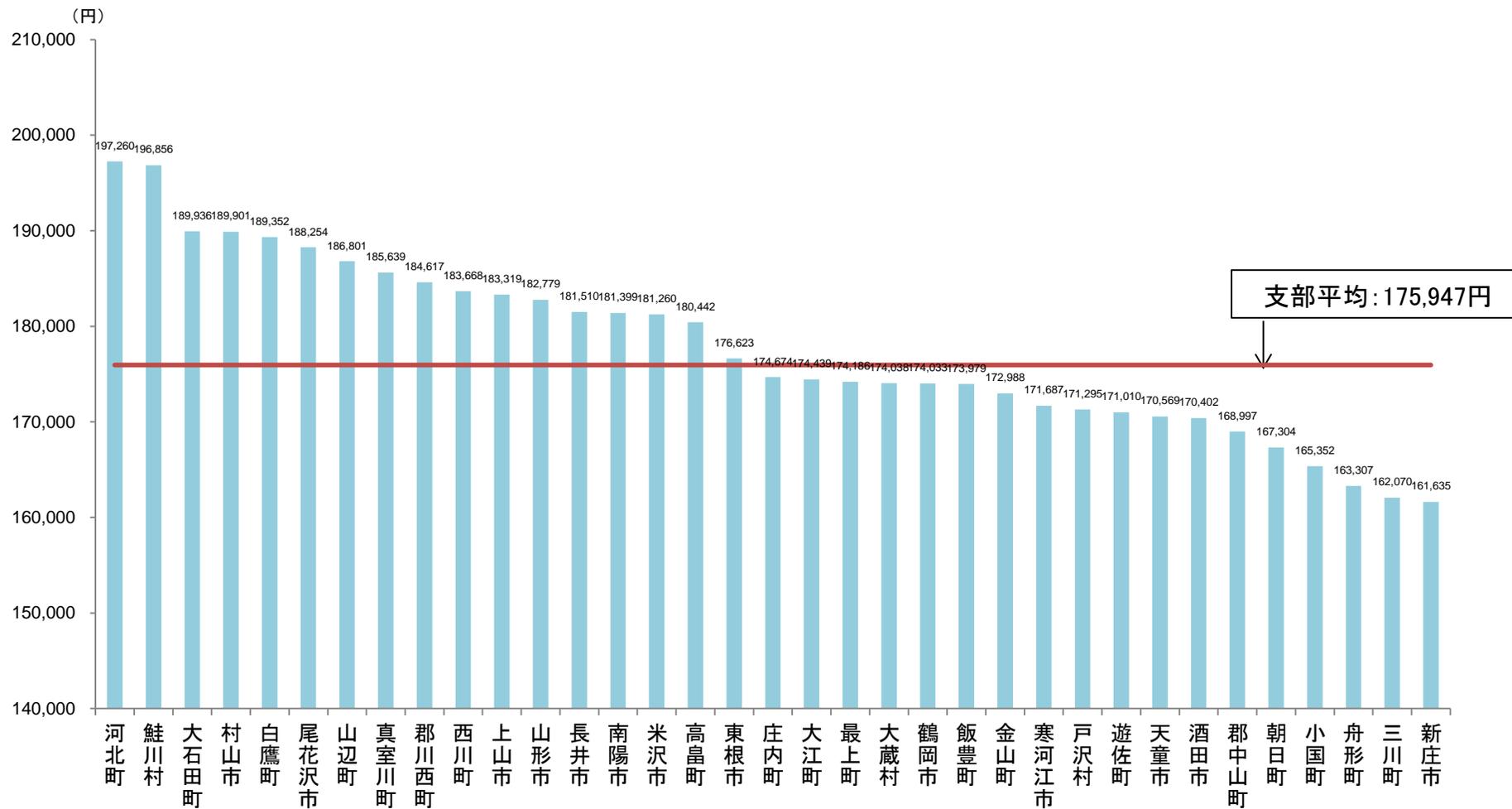
「総合工事業」、「卸売業」、「職別工事業」、「その他の対事業所サービス業」、「設備工事業」等が全業態平均を超えている。

● 主要業態別の医療費構成割合



医療費構成割合で半数近くを占めるのは、「50歳~69歳」の階級。

(7) 市町村別加入者一人当たり医療費

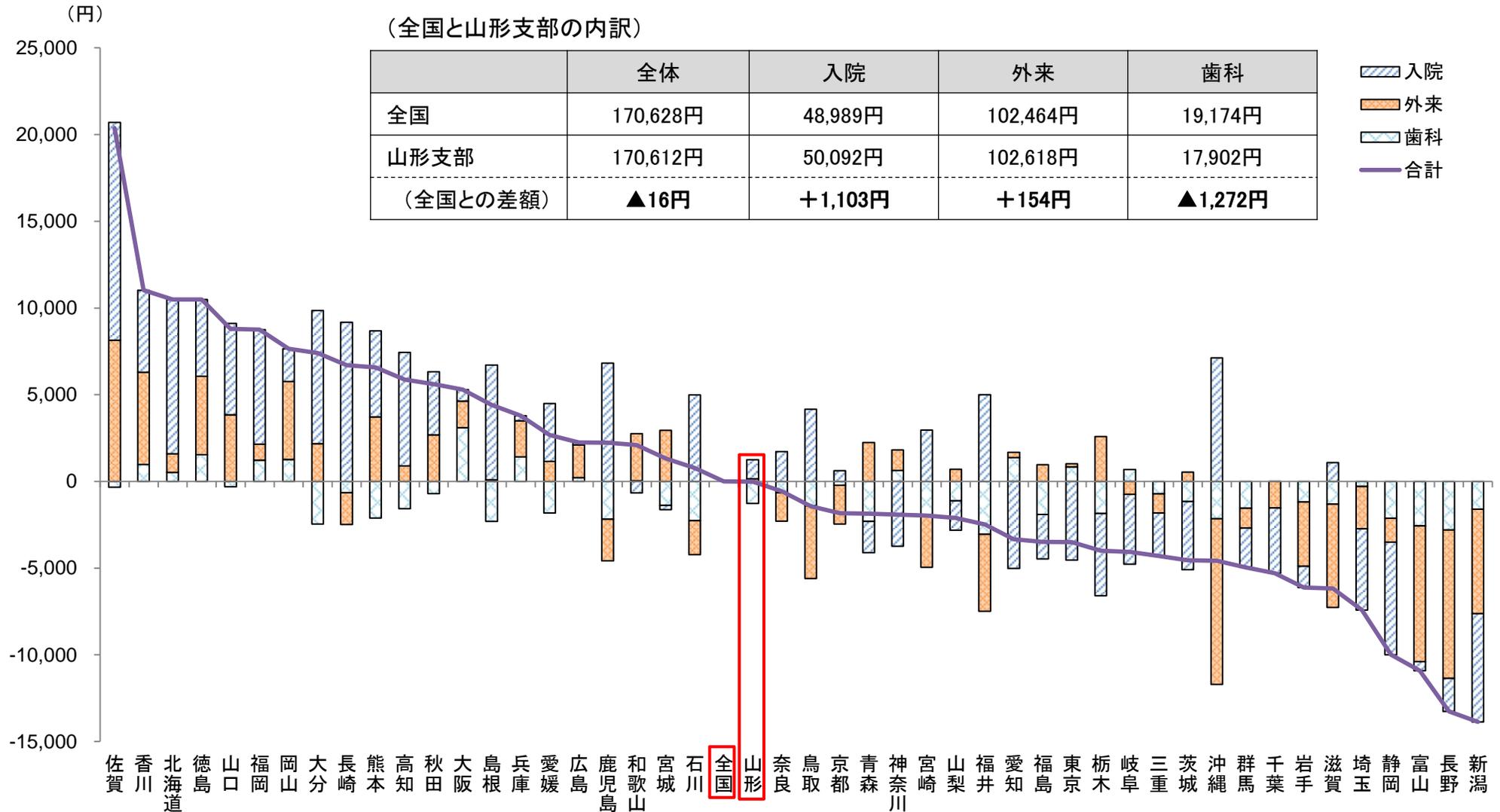


県平均(176,139円)を上回るのは、17市町村。

Ⅱ．協会けんぽ山形支部と全国平均との比較

※この分析においては、山形支部の加入者一人当たり医療費を年齢調整し、それを全国の加入者一人当たり医療費と比較することで、支部医療費を引き上げている要因(年齢要因以外)を特定することを目的とする。

都道府県別一人当たり医療費(年齢調整あり)



年齢調整後の山形支部の加入者一人当たり医療費は全国平均とほぼ同じ。入院医療費と外来医療費が全国を上回っており、歯科は全国より下回っている。

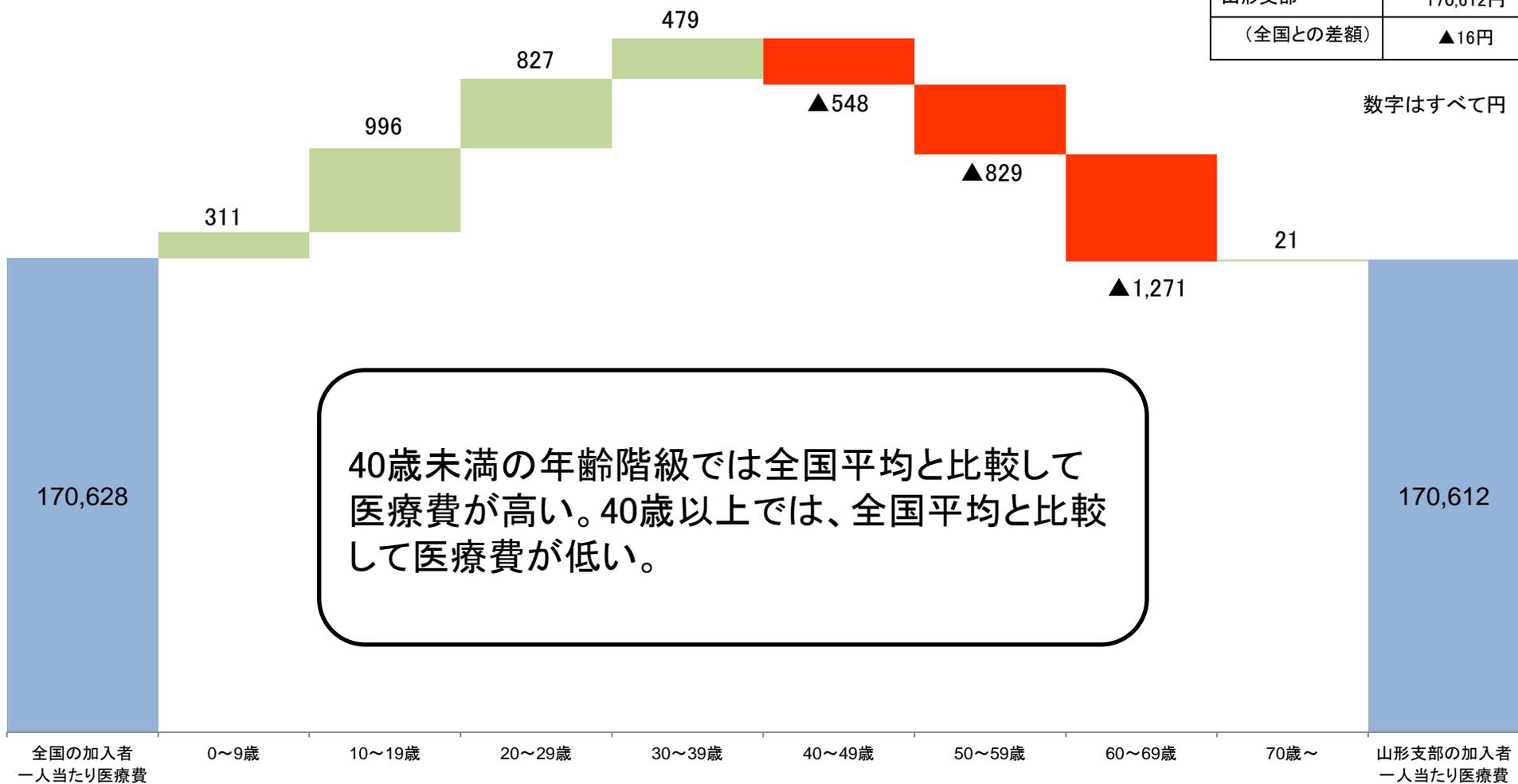
2. 一人当たり医療費の全国平均との差に対する寄与額

(1) 年齢階級別 (年齢調整あり)

① 医療費全体 (入院+外来+歯科)

	全体
全国	170,628円
山形支部	170,612円
(全国との差額)	▲16円

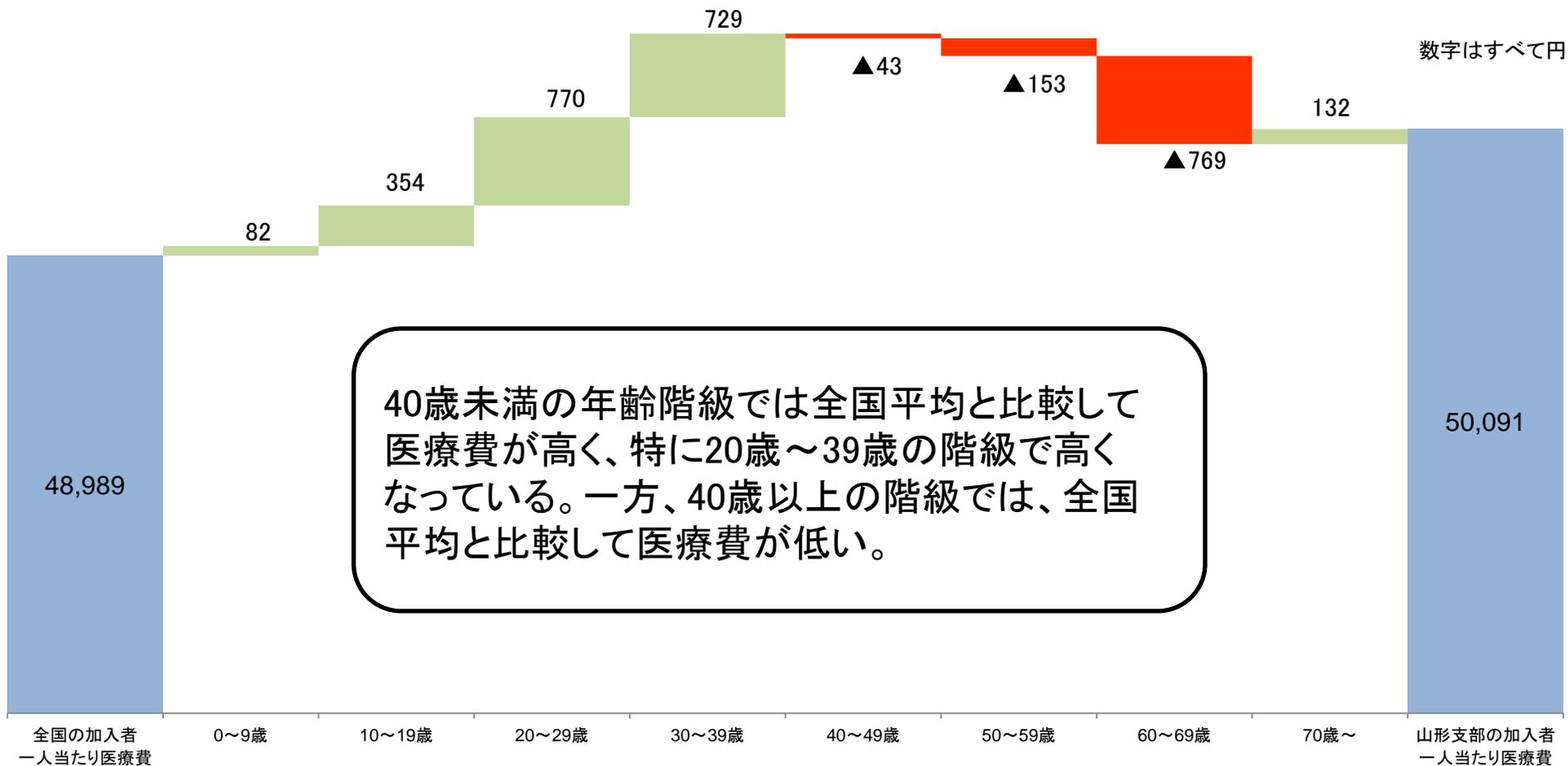
数字はすべて円



40歳未満の年齢階級では全国平均と比較して医療費が高い。40歳以上では、全国平均と比較して医療費が低い。

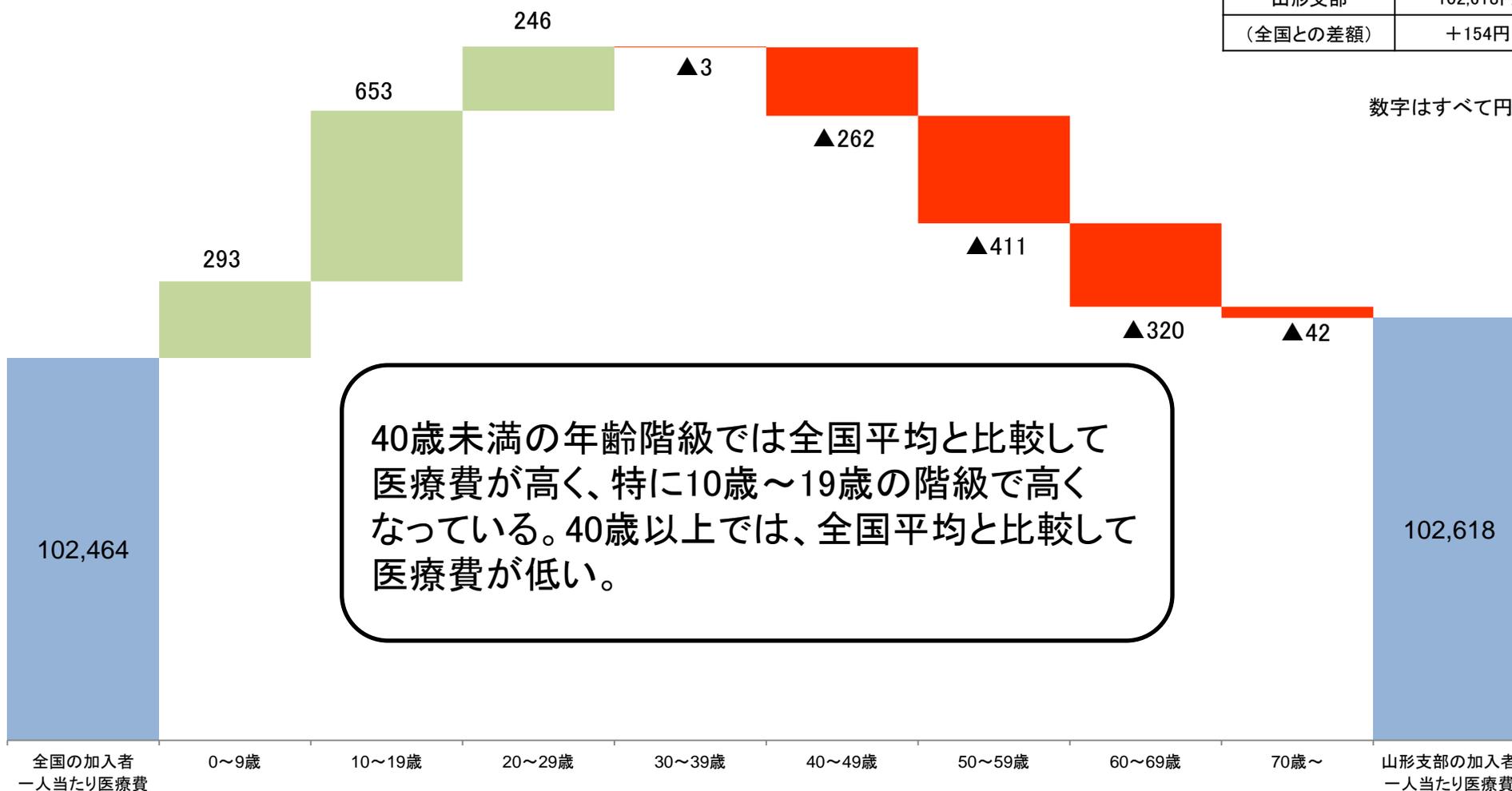
②入院

	入院
全国	48,989円
山形支部	50,092円
(全国との差額)	+1,103円



③外来

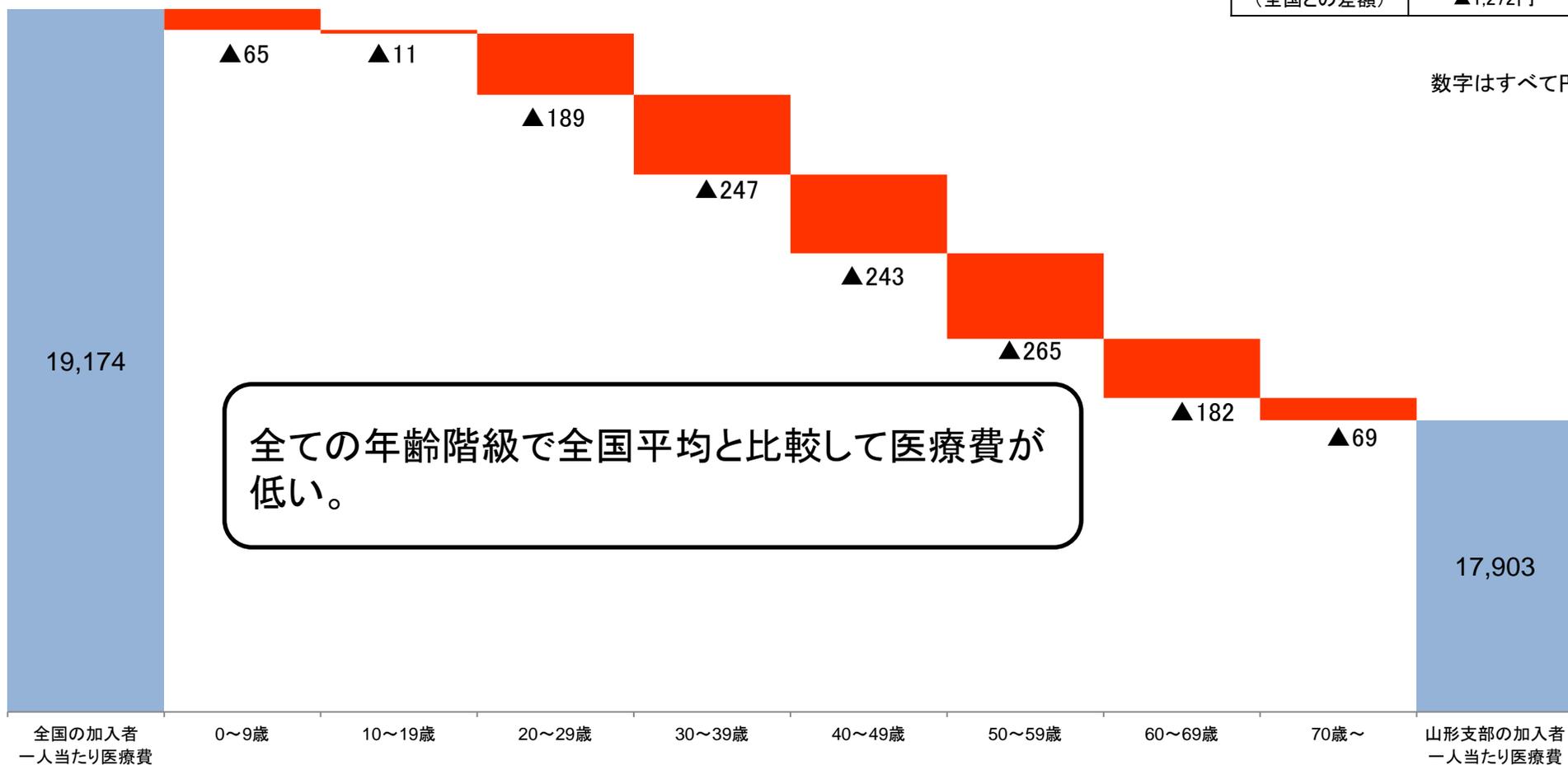
	外来
全国	102,464円
山形支部	102,618円
(全国との差額)	+154円



40歳未満の年齢階級では全国平均と比較して医療費が高く、特に10歳~19歳の階級で高くなっている。40歳以上では、全国平均と比較して医療費が低い。

④ 歯科

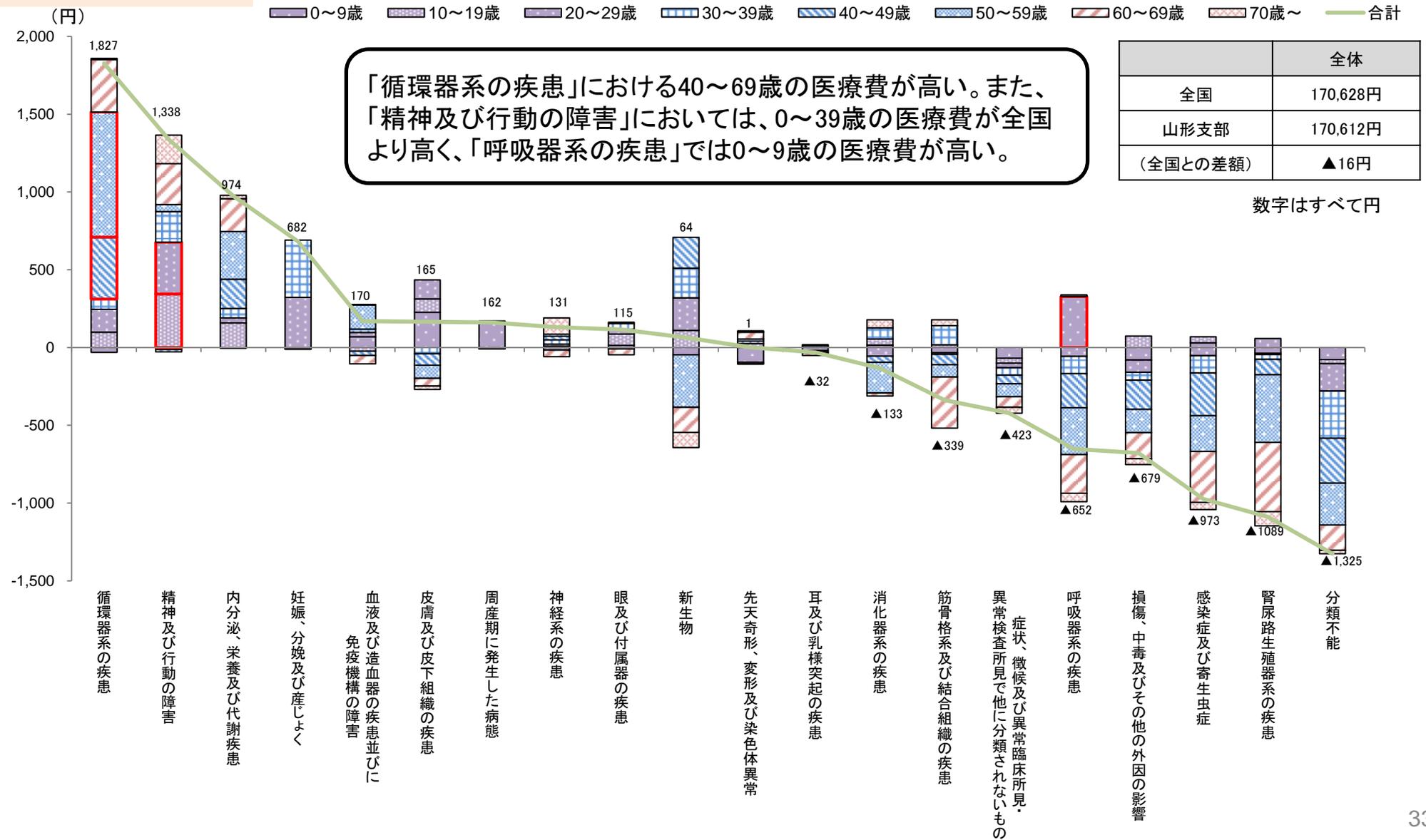
	歯科
全国	19,174円
山形支部	17,902円
(全国との差額)	▲1,272円



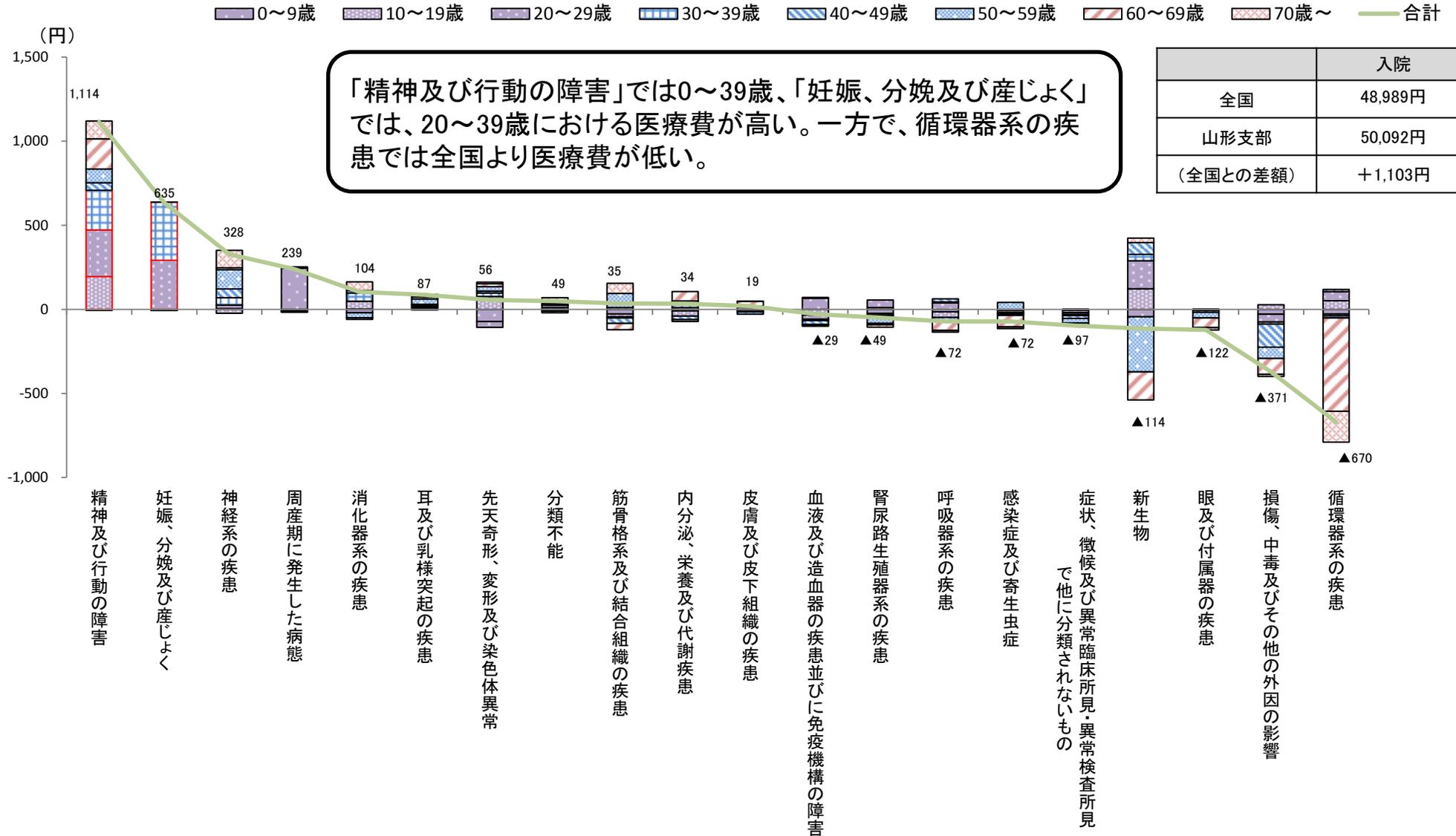
(2) 疾病分類別

(2) 疾病分類別 (年齢調整あり)

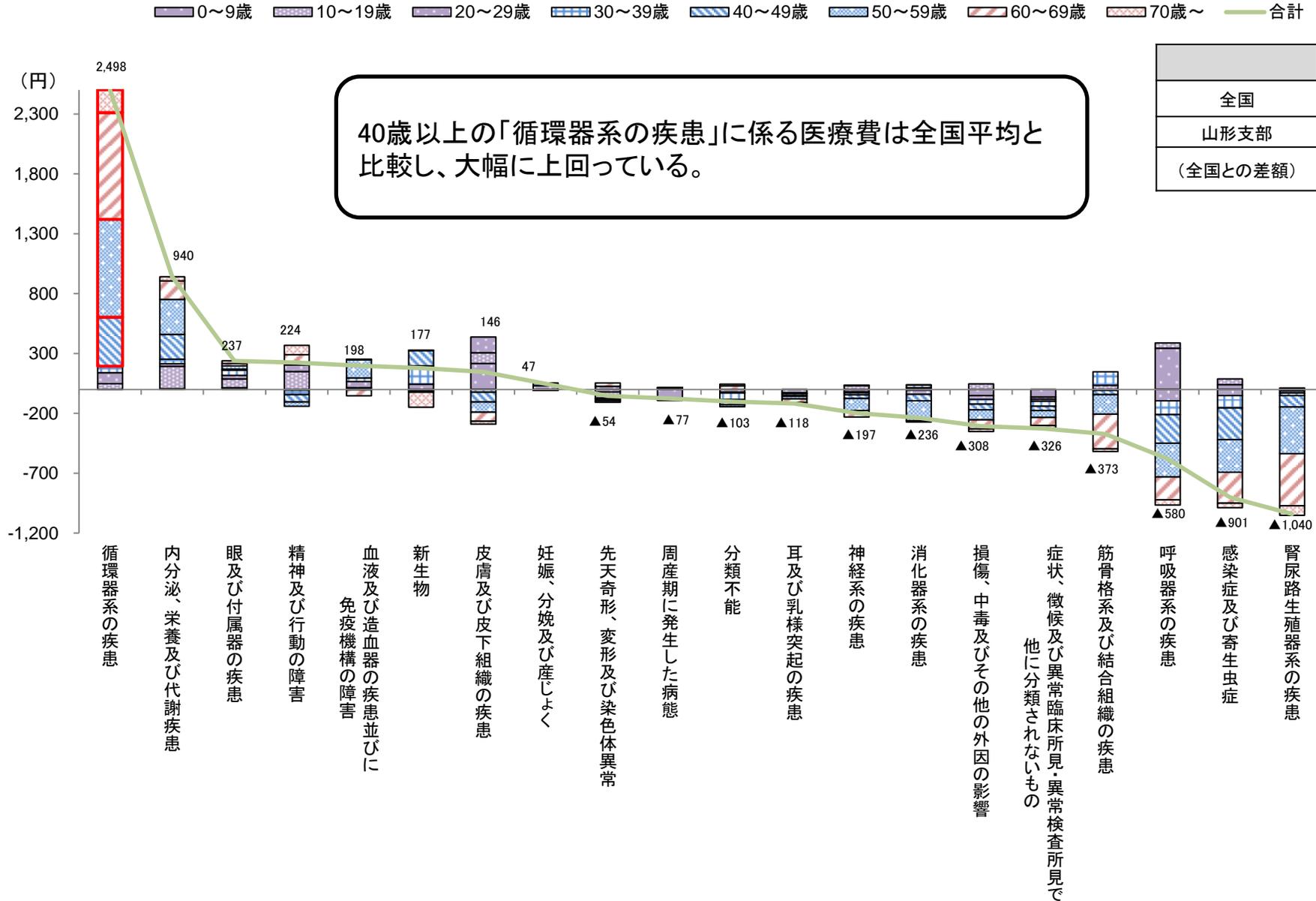
① 医療費全体



② 入院

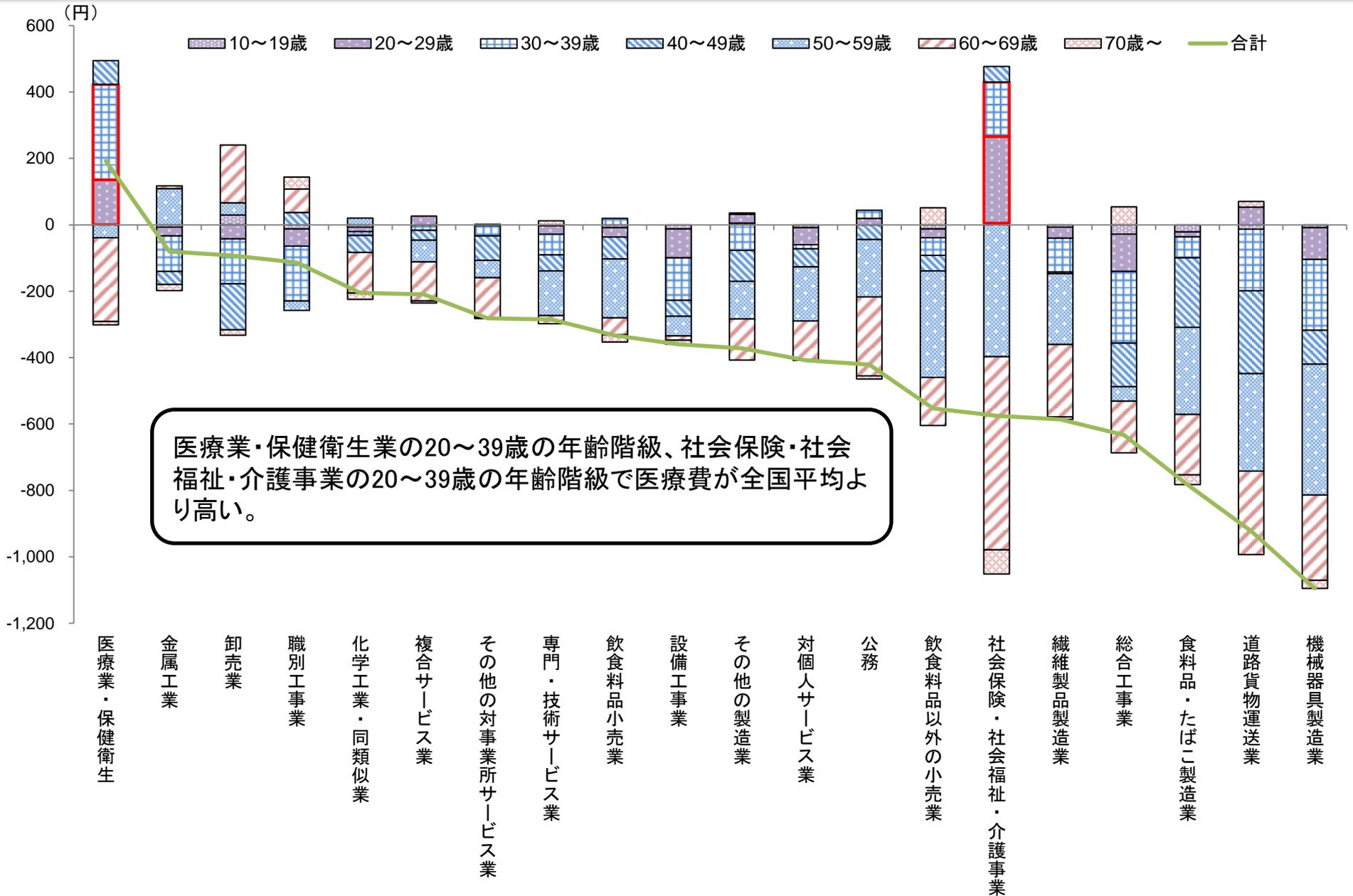


③ 外来



(3) 業態別

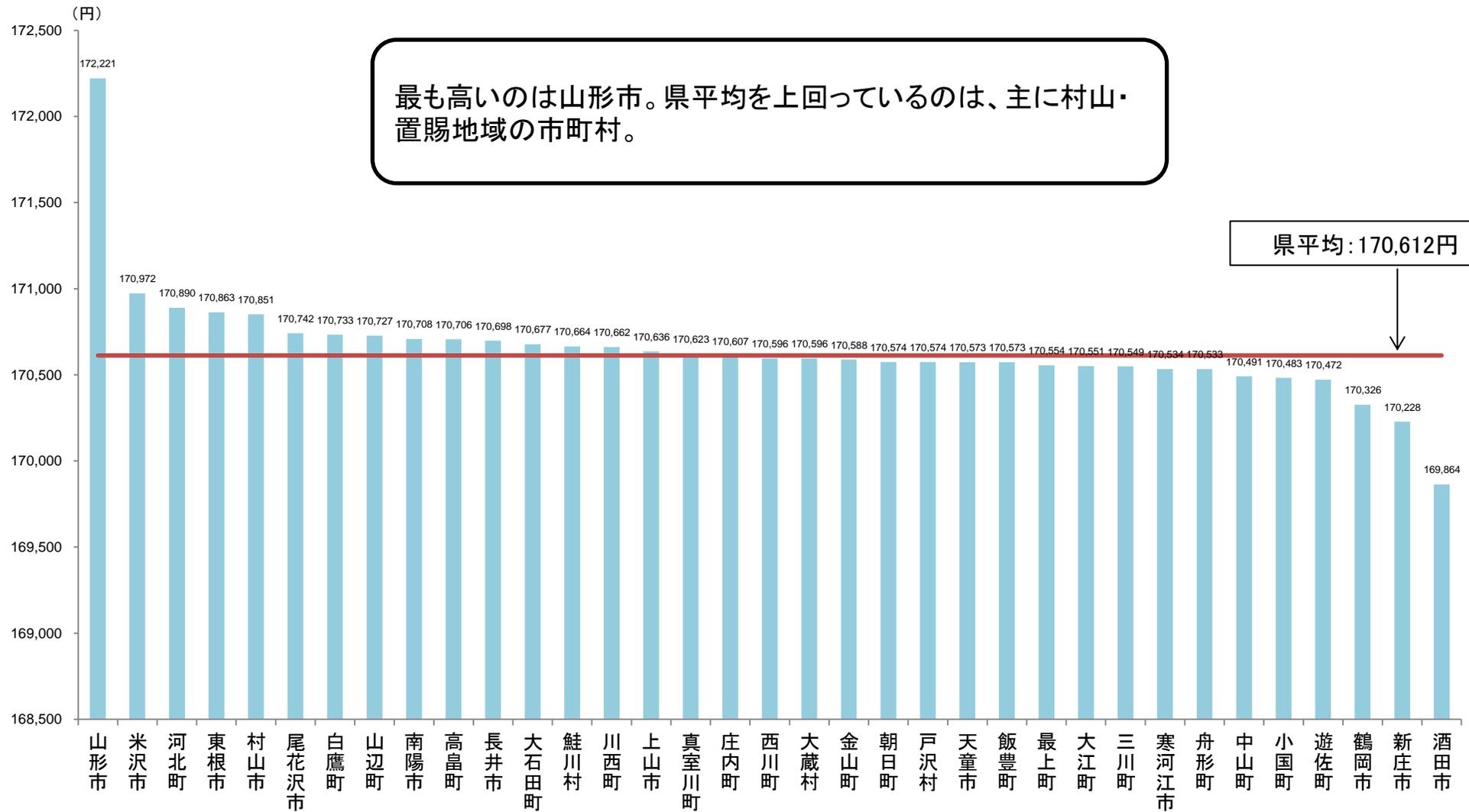
(3) 業態別 (年齢調整あり)



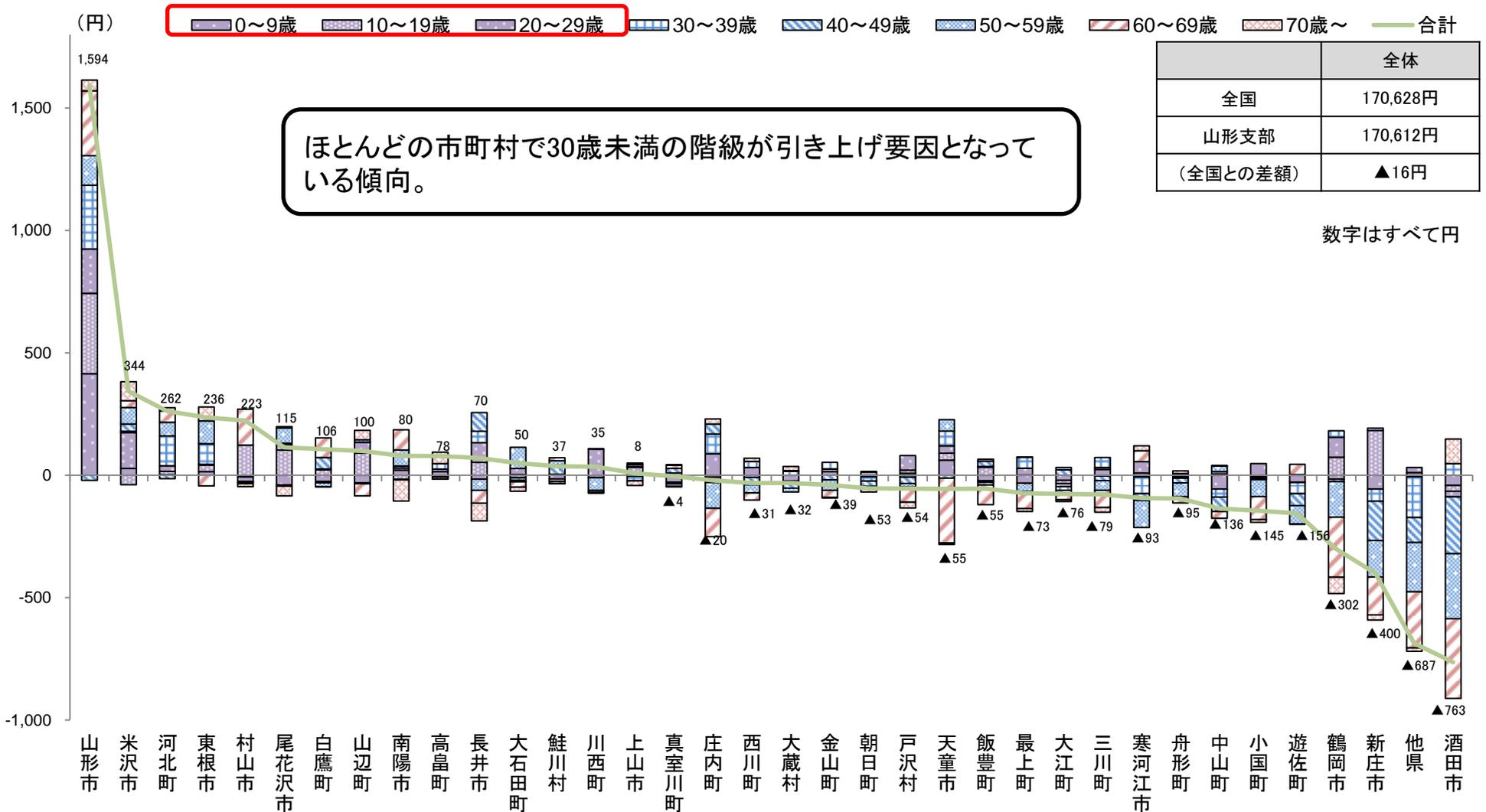
(4) 市町村別

(4) 市町村別 (年齢調整あり)

市町村別加入者一人当たり医療費



① 医療費全体

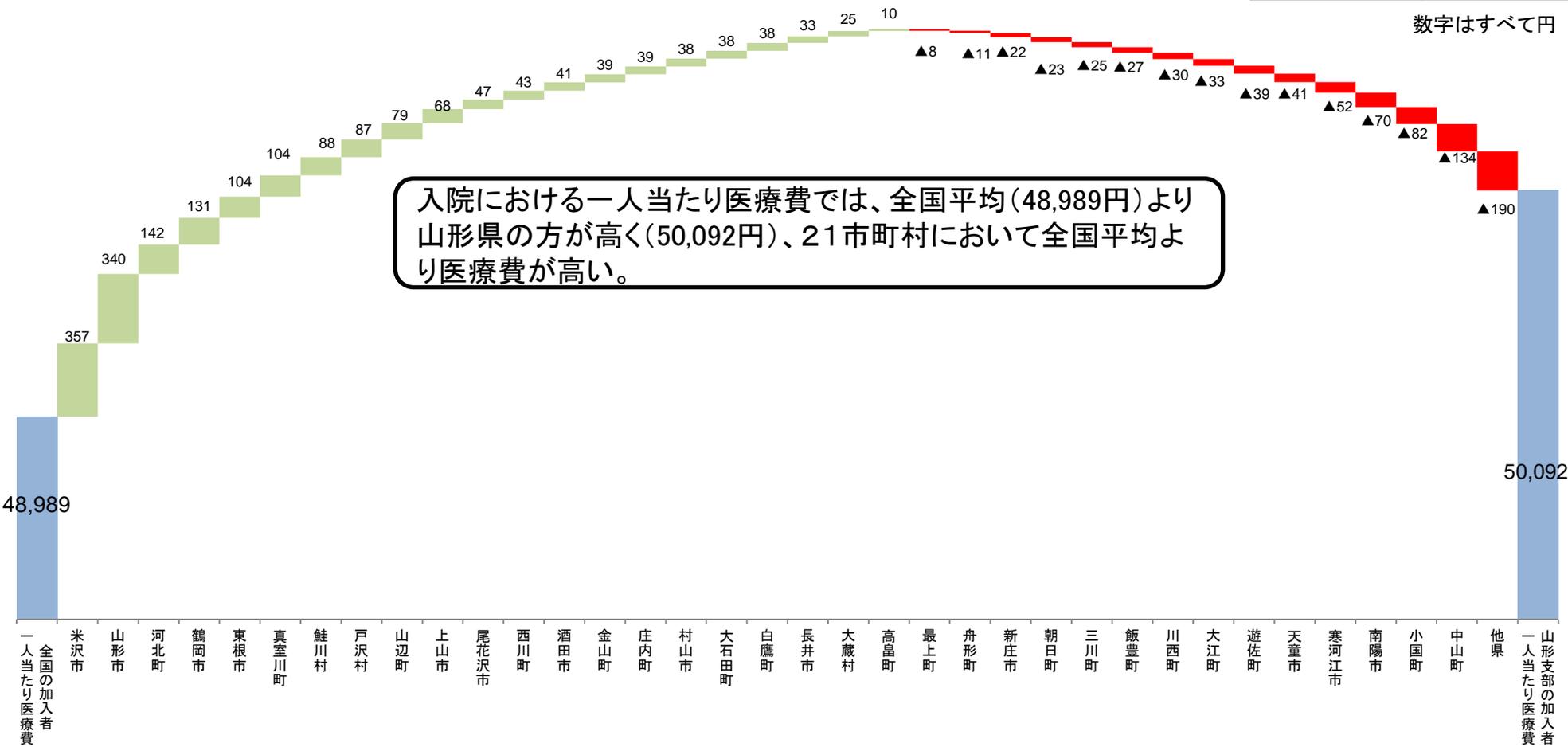


②入院

	入院
全国	48,989円
山形支部	50,092円
(全国との差額)	+1,103円

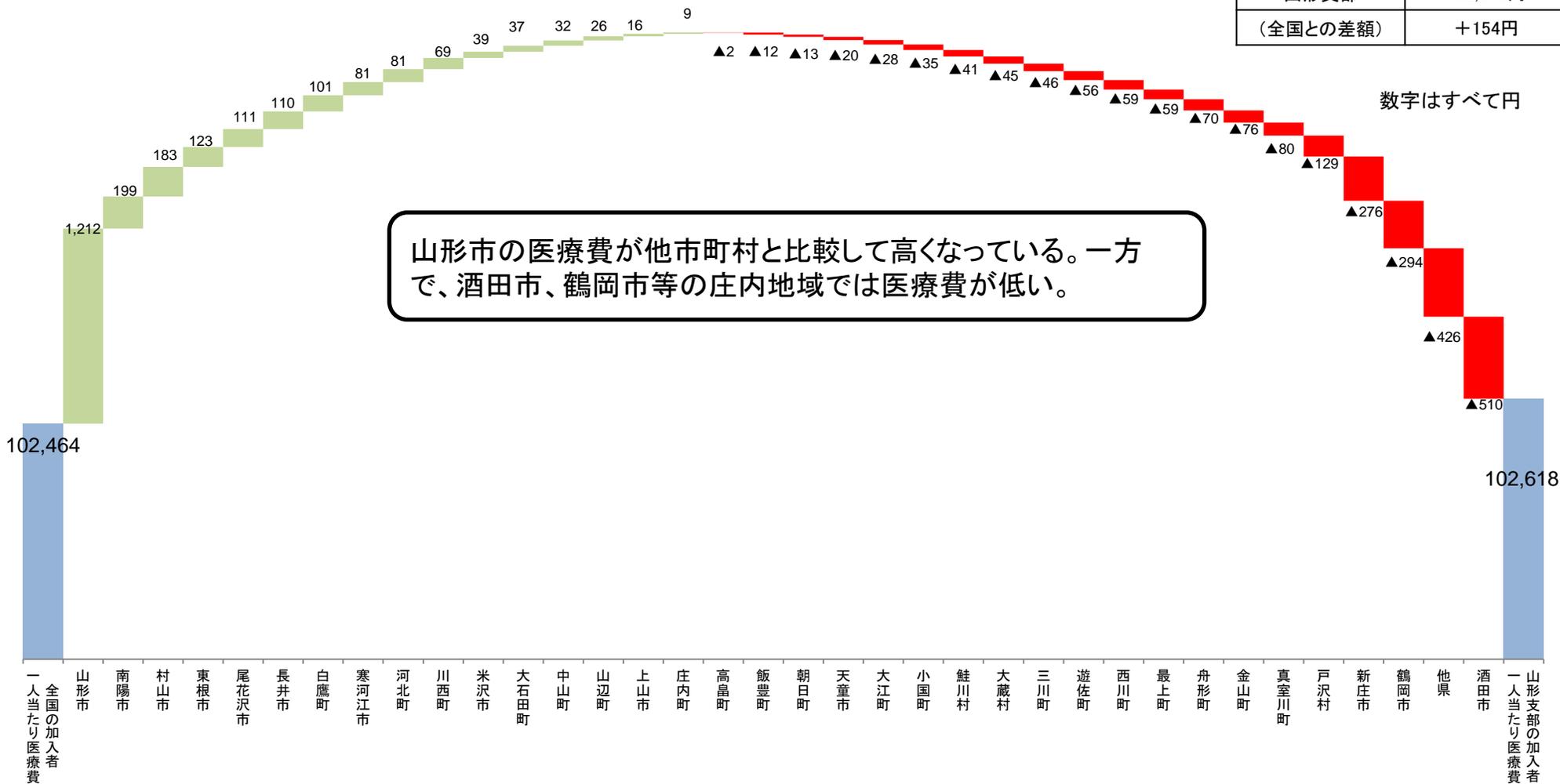
数字はすべて円

入院における一人当たり医療費では、全国平均(48,989円)より山形県の方が高く(50,092円)、21市町村において全国平均より医療費が高い。



③外来

	外来
全国	102,464円
山形支部	102,618円
(全国との差額)	+154円



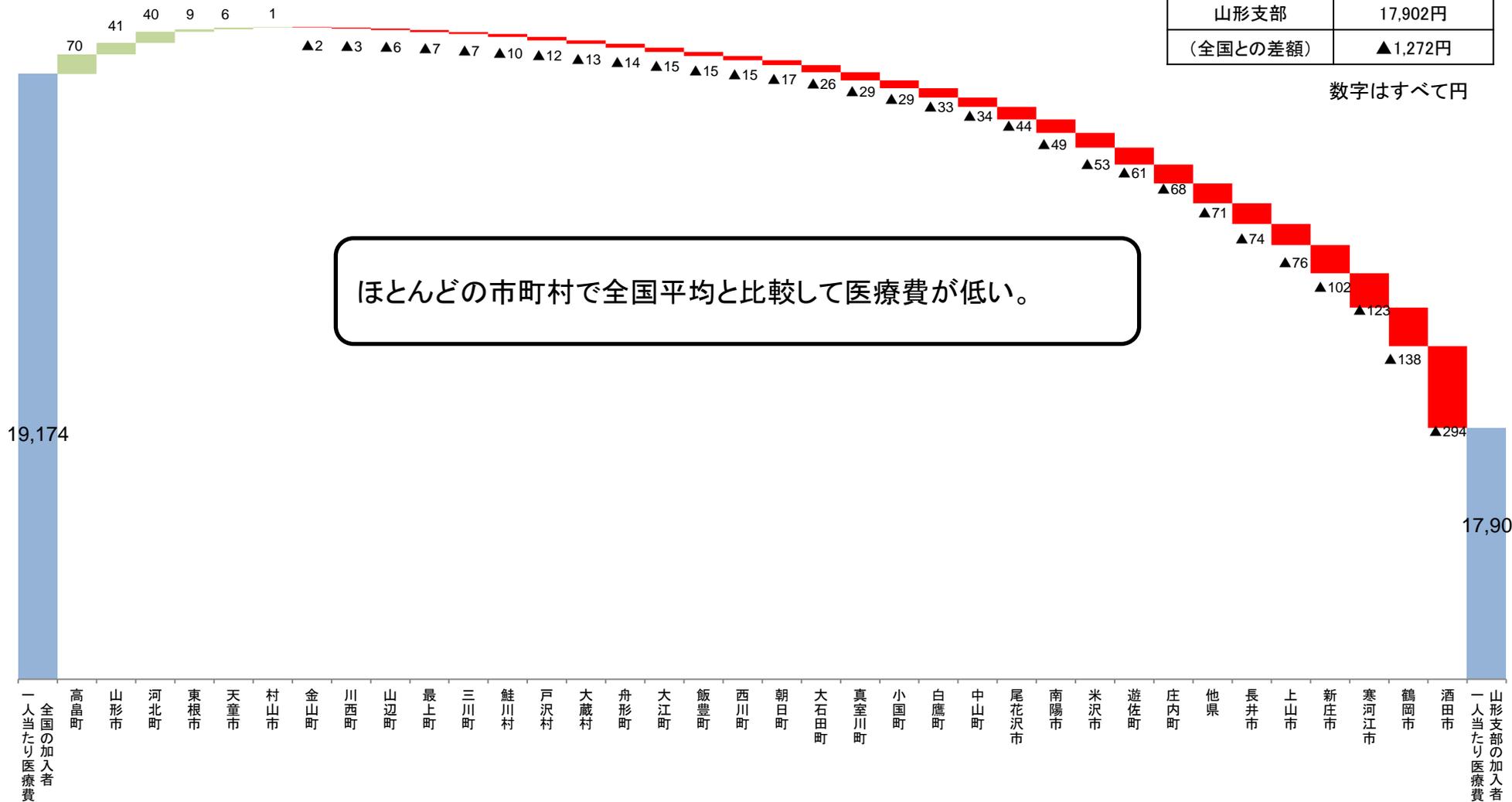
山形市の医療費が他市町村と比較して高くなっている。一方で、酒田市、鶴岡市等の庄内地域では医療費が低い。

④ 歯科

歯科	
全国	19,174円
山形支部	17,902円
(全国との差額)	▲1,272円

数字はすべて円

ほとんどの市町村で全国平均と比較して医療費が低い。



3. まとめ

<医療費概要(年齢調整なし)>

- 山形支部における加入者一人当たり医療費は全国平均を上回っており、この傾向は近年続いている。医療費の伸びを全国平均と比較しても山形支部の増加幅は全国平均の増加幅を上回っている。
- 山形支部の加入者一人当たり医療費が全国平均より高いのは、入院、外来の加入者一人当たり医療費が、全国より高いことが要因。特に外来では、受診率が全国トップクラス。
- 加入者一人当たり医療費を年齢階級別にみると、若年層で全国と同等か上回っており、逆に中年層・高齢層では全国を下回っている。
- 被保険者の一人当たり医療費は全国と同水準(男性)又は全国を大きく下回る(女性)が、被扶養者の一人当たり医療費は男女ともに大きく全国を上回る。
- 医療費全体に占める疾病分類別の割合は全国と山形でいずれも、「循環器系の疾患」、「新生物」、「呼吸器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で約5割を占める。入院では、「新生物」・「循環器系の疾患」で約4割、外来では「循環器系の疾患」、「新生物」、「呼吸器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」で全体の約5割を占める。

<一人当たり医療費の全国平均との差に対する寄与額(年齢調整あり)>

- 年齢調整後の加入者一人当たり医療費は全国平均と概ね同水準。入院と外来の加入者一人当たり医療費は全国平均より高く、歯科は全国平均より低い。
- 若年層が医療費の引き上げ要因となっており、中高齢層で引き下げている。
- 疾病分類別の一人当たり医療費が全国平均より高い上位は、「循環器系の疾患」、「精神及び行動の障害」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」となっている。「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」は医療費全体に占める割合も高く、影響が大きい。「呼吸器系の疾患」は医療費全体に占める割合は大きいが一人当たり医療費は全国よりも低い。
- 「循環器系の疾患」は外来が全国を大きく上回る。年齢階級別では、40歳以上の層が全国より高い。
- 市町村別で一人当たり医療費が最も高いのは山形市。県平均を上回っているのは、主に村山・置賜地域の市町村。
- ほとんどの市町村で30歳未満の階級が引き上げ要因となっている。

本資料について

分析に使用したデータ

- 加入者・医療費基本情報(H28年度)
- 郵便番号別加入者・医療費基本情報(H28年度)
- 業態別加入者・医療費基本情報(H28年度)
- 厚生労働省平成28年度医療施設調査(平成28年10月1日現在)

その他

- 端数処理の関係で、各数値の合計額が一致しない場合がある
- 疾病分類においては、複数の傷病が記載されているレセプトから主傷病が表示されている傷病を集計している。主傷病の表示がない場合は、レセプトに記載されている順番が最も早い(先頭に記載されている)傷病で集計している。

参考資料1: 疾病分類について

本資料では、社会保険表章分類に基づき、20種類の疾病に分類している。

I: 感染症及び寄生虫症 0101 腸管感染症 0102 結核 0103 主として性的伝播様式をとる感染症 0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患 0105 ウイルス肝炎 0106 他のウイルス疾患 0107 真菌症 0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 0109 他の感染症及び寄生虫症	VI: 神経系の疾患 0601 パーキンソン病 0602 アルツハイマー病 0603 てんかん 0604 脳性麻痺及び他の麻痺性症候群 0605 自律神経系の障害 0606 他の神経系の疾患	X: 呼吸器系の疾患 1001 急性鼻咽頭炎[かぜ] 1002 急性咽頭及び急性扁桃炎 1003 他の急性上気道感染症 1004 肺炎 1005 急性気管支及び急性細気管支炎 1006 アレルギー性鼻炎 1007 慢性副鼻腔炎 1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎 1009 慢性閉塞性肺疾患 1010 喘息 1011 他の呼吸器系の疾患	XIV: 腎尿路生殖器系の疾患 1401 糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患 1402 腎不全 1403 尿路結石症 1404 他の尿路系の疾患 1405 前立腺肥大(症) 1406 他の男性生殖器の疾患 1407 月経障害及び閉経周辺期障害 1408 乳房及び他の女性生殖器の疾患
II: 新生物 0201 胃の悪性新生物 0202 結腸の悪性新生物 0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物 0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物 0206 乳房の悪性新生物 0207 子宮の悪性新生物 0208 悪性リンパ腫 0209 白血病 0210 他の悪性新生物 0211 良性新生物及びその他の新生物	VII: 眼及び付属器の疾患 0701 結膜炎 0702 白内障 0703 屈折及び調節の障害 0704 他の眼及び付属器の疾患	XI: 消化器系の疾患 1101 う蝕 1102 歯肉炎及び歯周疾患 1103 他の歯及び歯の支持組織の障害 1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 1105 胃炎及び十二指腸炎 1106 アルコール性肝疾患 1107 慢性肝炎(アルコール性除く) 1108 肝硬変(アルコール性除く) 1109 他の肝疾患 1110 胆石症及び胆のう炎 1111 膵疾患 1112 他の消化器系の疾患	XV: 妊娠、分娩及び産じょく 1501 流産 1502 妊娠高血圧症候群 1503 単胎自然分娩 1504 他の妊娠、分娩及び産じょく
III: 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 0301 貧血 0302 他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	VIII: 耳及び乳様突起の疾患 0801 外耳炎 0802 他の外耳疾患 0803 中耳炎 0804 他の中耳及び乳様突起の疾患 0805 メニエール病 0806 他の内耳疾患 0807 他の耳疾患	XII: 皮膚及び皮下組織の疾患 1201 皮膚及び皮下組織の感染症 1202 皮膚炎及び湿疹 1203 他の皮膚及び皮下組織の疾患	XVI: 周産期に発生した病態 1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害 1602 他の周産期に発生した病態
IV: 内分泌、栄養及び代謝疾患 0401 甲状腺障害 0402 糖尿病 0403 他の内分泌、栄養及び代謝疾患	IX: 循環器系の疾患 0901 高血圧性疾患 0902 虚血性心疾患 0903 他の心疾患 0904 くも膜下出血 0905 脳内出血 0906 脳梗塞 0907 脳動脈硬化(症) 0908 他の脳血管疾患 0909 動脈硬化(症) 0910 痔核 0911 低血圧(症) 0912 他の循環器系の疾患	XIII: 筋骨格系及び結合組織の疾患 1301 炎症性多発性関節障害 1302 関節症 1303 脊椎障害(脊椎症を含む) 1304 椎間板障害 1305 頸腕症候群 1306 腰痛症及び坐骨神経痛 1307 他の脊柱障害 1308 肩の傷害<損傷> 1309 骨の密度及び構造の障害 1310 他の筋骨格系及び結合組織の疾患	XVII: 先天奇形、変形及び染色体異常 1701 心臓の先天奇形 1702 他の先天奇形、変形及び染色体異常
V: 精神及び行動の障害 0501 血管性及び詳細不明の認知症 0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 0504 気分[感情]障害(躁うつ病を含む) 0505 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 0506 知的障害<精神遅滞> 0507 他の精神及び行動の障害			XVIII: 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
			XXIX: 損傷、中毒及びその他の外因の影響 1901 骨折 1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷 1903 熱傷及び腐食 1904 中毒 1905 他の損傷及び他の外因の影響
			XXXII: 特殊目的用コード 2210 重症急性呼吸器症候群 2220 その他の特殊目的用コード

参考資料2: 1人当たり医療費の分解

1人当たり医療費は、以下の計算式に分解できます。

$$\text{1人当たり医療費} = \text{受診率} \times \text{1件当たり日数} \times \text{1日当たり医療費}$$

受診率	健康度を表す指標。(率の多寡により健康を害しているかの判断を行う目安)
1件当たり日数	症状の程度を表す指標。(日数の多寡により重症であるかの判断を行う目安)
1日当たり医療費	症状の程度を表す指標。(金額の多寡により重症であるかの判断を行う目安)

$$\frac{\text{医療費総額}}{\text{加入者数}} = \frac{\text{受診率}}{\text{加入者数}} \times \frac{\text{1件当たり日数}}{\text{レセプト件数}} \times \frac{\text{1日当たり医療費}}{\text{診療実日数}}$$

医療費総額 = 加入者数 × 受診率 × レセプト件数 × 1件当たり日数 × レセプト件数 × 1日当たり医療費 × 診療実日数